

+R BOOK 2011

Contents

2	+R Story	+Rストーリー
16	+R Style	この本の使い方
18	+R Style	わたしの選んだ +R
46	+R Style Advanced Studies	さらなる学びを追究する〔大学院〕
52	+R Career	将来の自分を考える
56	+R APU	APUで学ぼう！ 交流しよう！
58	+R President Message	川口総長からのメッセージ「広い世界で新しい自分づくりを始めよう！」
60	+R Charter	立命館憲章 ～立命館で学ぶということ～
62	+R Cheer	みんなの心が一つになる瞬間。スタジアムへ行こう！
64	+R Data	数字で見る立命館大学の +R
66	+R Information	アクセスマップ&連絡先
70	+R WEB	在学生向け情報サイト RS WEB

あなたは今、未来への扉を開いたばかり。

大学生活で何をする？ 大学でどうなりたい？

未来のあなたをイメージしてほしい。スタートは、そこから。

あなたにあった+Rをみつけるために、一歩踏み出そう。

この+R BOOKには、そのためのヒントがつまっている。



Creating a Future, Beyond Borders 一自分を超える、未来をつくる。一

未来を生みだす人になるための第一歩、自身のBorderを超える第一歩。

その一歩を、ここからはじめませんか。

+R Story

大学で学ぶ4年間。その中心となるのは、学部での学び。

立命館大学には、13の学部があり、学ぶテーマは多種多様。

先輩たちはどのように学部で学び、テーマを見つけ、形にしていくのか。

幅広い教養や基礎知識を身につけ、専門性を高めていく。

そんな学部の学び、正課の学びを紹介します。



小学校の頃から教員を目指し、中学・高校では「保健体育の教師になりたい」と思うようになりました。スポーツ健康科学部の新しい設備と有名な先生の下で学び、専門性の高い教師になりたいと進学を決めました。今は、スポーツ栄養学やトレーニング科学など幅広い基礎の勉強をしています。

この学部は先輩がいない分、自分次第で良くも悪くなるという責任感があります。でも、先生も学生もフレンドリーで、みんなすごく仲がいいんですよ。友達も先生もあたたかくて、入ってよかったです。

また学生が、元気に活動しているのも魅力ですね。私は京都スポーツ振興学生連盟のメンバーとして活動し、昨年の夏には女子プロ野球を盛り上げよう何度も話し合いをして、イベントを実行しました。その他にもスポーツを通したさまざまな交流企画を行っています。立ち上がったばかりの団体で、活動がとても楽しいんです。

将来は小・中学校の教師になりたい。そのためにも妥協をせずにがんばりたいと思います。スポーツ健康科学部の新入生のみなさん！ ここは「これからの中の学部」なので、一緒に築き上げていきましょう。施設や先生方もすごいので、あとは私たち学生の手で作り上げることが大切です。大学はやりたい事をとことんやれる場所。自分がやりたい事は、周りから何を言われてもやり通して下さいね。



Q&A

① 今の学部に入学を決めた理由は？

専門性の高い教師になるため。

② 興味深かった授業・ゼミは？

トレーニング科学、スポーツ栄養学、基礎スポーツ医学Ⅰ（内科系）の授業。今年はコーチング論の授業が楽しみ。

③ 将来は何になりたい？

小・中学校の体育の教師になりたい。

④ 立命館を一言で表現すると？

社会で活躍されている教授も多く、その体験や知識を聞くことで「本物」を知ることができる。

山本あすか
さん
スポーツ健康科学部2回生

丸山明日香

さん

法学部2回生



Q&A

①今の中大に入学を決めた理由は?

資格を取る選択肢が多い学部だから。

②興味深かった授業・ゼミは?

基本民法。本格的な法律を学んでい
ることを実感できます。

③将来は何になりたい?

まだ決めていません。今は、課外活動
や大学での学びを深めようと思っ
ています。

④立命館を一言で表現すると?

個性的な人が多い。色々なタイプの
人がいて、一緒に勉強できるのが魅
力です。

小学生の頃から、「弁護士」という職業に漠然
とした憧れがありました。「女性でも働き続ける
ことができる」というところに魅力を感じて
いたんだと思います。

高校生になると進路にはすごく悩みましたが、
将来のことを考えて「できるだけ資格を取りた
い」と思い、法学部を選択しました。

入学後は、法学部自治会の活動にも参加。こ
こで先輩とのつながりが増え、図書館での本
の調べ方など、学部の学びの事だけではなく、
大学生活全般についてたくさんのこと教えて
頂きました。先輩から頂いたアドバイスの中で
印象的だったのは「資格が全てではない。大学
で学んできたことも評価される」ということ。
資格取得のことばかり考えていた私は、自
分の考え方を見つめ直すことに。せっかくの大学
生活をもっと楽しもうと思い、課外活動にも積
極的に参加するようになりました。

また、学部の学びでも意外な発見がありました。
「法学部=六法全書を全て覚える」という
イメージがあったのですが、「法学部は思考力
が学べる場所」という先生の言葉で、物事の解
釈の仕方など様々なことが学べるんだと実感
しました。

「法律学」というと、堅く、世界が違うものだ
と思っていましたが、意外と身近なものであるこ
とも分かりました。今は「民法」に興味がある
ので、これから深めていけたらと思います。



① 今 の 学 部 に 入 学 を 決 め た 理 由 は ？

大学のパンフレットの経済学部のページで、「食料経済論」という授業の存在を知り、興味を持った。

② 興味 深 か た る 授 業 ・ ゼ ミ は ？

「現代国際経済」。アジアやヨーロッパなど、世界の経済状況を詳しく知ることができた。

③ 将 来 は 何 に な り た い ？

食品関係の会社に就職したい！

④ 立 命 館 を 一 言 で 表 現 す る と ？

多様性と可能性。



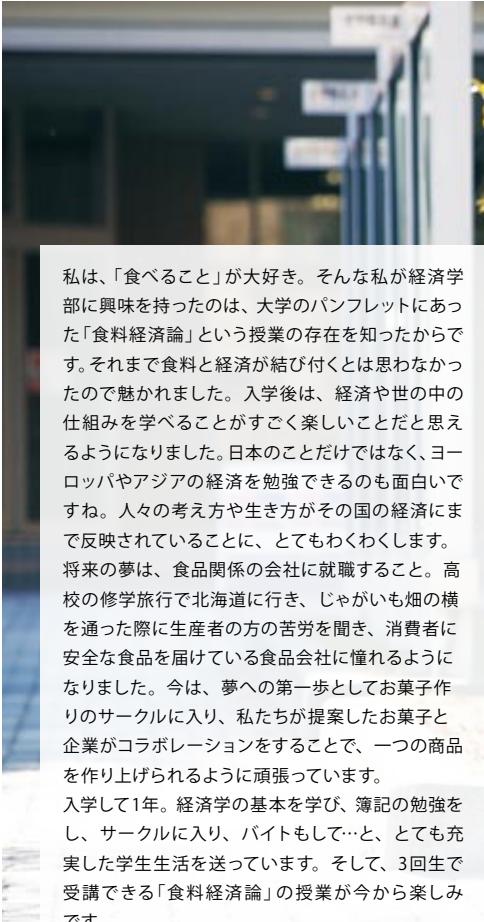
高榮晶子

さん

経済学部 2回生

私は、「食べること」が大好き。そんな私が経済学部に興味を持ったのは、大学のパンフレットにあった「食料経済論」という授業の存在を知ったからです。それまで食料と経済が結び付くとは思わなかったので魅かれました。入学後は、経済や世の中の仕組みを学べることがすごく楽しいことだと思えるようになりました。日本のことだけではなく、ヨーロッパやアジアの経済を勉強できるのも面白いですね。人々の考え方や生き方がその国の経済にまで反映されていることに、とてもわくわくします。将来の夢は、食品関係の会社に就職すること。高校の修学旅行で北海道に行き、じゃがいも畑の横を通った際に生産者の方の苦労を聞き、消費者に安全な食品を届けている食品会社に憧れるようになりました。今は、夢への第一歩としてお菓子作りのサークルに入り、私たちが提案したお菓子と企業がコラボレーションすることで、一つの商品を作り上げられるように頑張っています。

入学して1年。経済学の基本を学び、簿記の勉強をし、サークルに入り、バイトもして…と、とても充実した学生生活を送っています。そして、3回生で受講できる「食料経済論」の授業が今から楽しみです。



松村綾音

さん

政策科学部3回生

研究入門フォーラム カンボジアプロジェクト リーダー



1

Q&A

①今この学部に入学を決めた理由は？

元々、文理両方に興味があったから。
幅広い分野を学びたかった。

②興味深かった授業・ゼミは？

「分析技法入門」。アンケート調査について学びました。

③将来は何になりたい？

コミュニケーションの希薄化が叫ばれている日本で、地元に帰って人と向き合う仕事がしたい！

④立命館を一言で表現すると？

「自由」。自分の道を見つけて進んでいる学生が多い。みんな輝いてます！！



「国、背景が違うと、考えが異なる」。そこに面白さを感じ、2回生の時に研究入門フォーラムのカンボジアプロジェクトに参加しました。実際に現地へ赴いてみると、自分たちが抱いていた「貧しい国」というイメージとは異なり、首都プノンペンはとても栄えていました。しかし、「アンコール=ワット」のあるシェムリアップという町に行ってみると、プノンペンとの「格差」に驚きました。私たちはシェムリアップの観光業に着目し、調査を開始。現地では、カンボジアの内務副大臣やガイドの方からお話を伺う機会にも恵まれました。そして私たちは、経済発展を目指したグループ研究することに。いかにカンボジアの魅力を壊さずに、コストを抑えてインフラ整備が出来るか、ということがこの研究のポイントです。

実際に現地に足を運び、自分の目で見て話を聞く。これがとても重要であるとこの経験を通して実感しました。そうすることでの「先入観」を捨て、問題の原因を突き止めたり、自分なりの解決法を考えたりすることができます。これは、政策科学部の学びの最大の魅力だと思います。今後も、実際に行動することで得られるものからたくさんの事を学び、自分の考えを確立させていきたいですね。

① 今 の 学 部 に 入 学 を 決 め た 理 由 は ？

高校生の時、世界の地雷の問題をテレビで知り、衝撃を受けた。「国際関係に役立つことを学びたい」と思いが膨らんだ。

② 興味 深 か た 授 業 ・ ゼ ミ は ？

外交の難しさを理論と実践で学んだ「国際政治学」とGSG。

③ 将 来 は 何 に な り た い ？

社会に出て経験を積んだ後、もう一度大学院で専門的に勉強してみたい。

④ 立 命 館 を 一 言 で 表 現 す る と ？

学生のために変わるべき大学。



あるテレビ番組で、戦争が終わった後も大地に埋められた地雷に苦しめられる人々の姿を観て衝撃を受けたのは、高校2年生の時。世界の問題に目を向けるきっかけになりました。

国同士の恩怨や利害によって戦争や貧困がなくならない現実を前に、どうしたらいいのか。そんな疑問に対する答えを見つけるための学びが、国際関係学部にはたくさんあります。最も実践的なのが、グローバル・シミュレーション・ゲーミング(GSG)。この授業には学部の2回生全員が参加。学生が国連の事務総長、各國の大統領、世界銀行総裁といった役割に扮し、地球温暖化や民族紛争などのテーマに沿って外交を疑似体験します。私はアメリカ大統領を担当し、民族紛争を防ぐために各國と折衝したり、時には圧力をかけたり、他国に扮したグループとの外交に挑戦。世界の国々とのバランスや自国の安全を考えると、「戦争はダメ」といった正義感だけでは思うように外交は進まないことも痛感しました。また実践的な経験が、他の授業で理論的、学術的に裏づけられることでも理解はいっそう深まります。こうした体験や授業を経て、日々のニュースの見方も変わってきました。これからは、もっと世界の実情を自分の目で見て、体験したいです。

中井 信 大

さん

国際関係学部 国際インスティテュート3回生

岩崎直輝

さん

産業社会学部 4回生



Q&A

①今の中大に入学を決めた理由は？

教育だけでなく、社会科学的な側面から不登校や非行などの子どもの問題に切り込める学びに魅力を感じて。

②興味深かった授業・ゼミは？

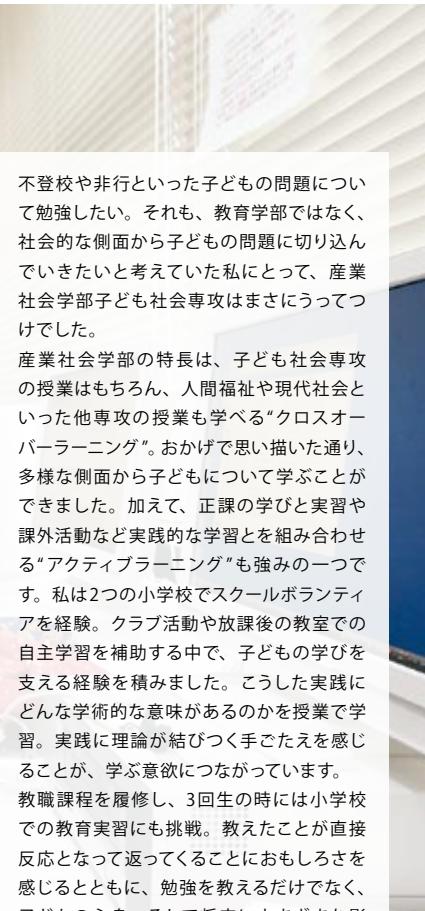
基礎演習で子どもの貧困を調査。子どもの問題には多様な要因が影響することを実感した。

③将来は何になりたい？

子どもに安心感を与えられる教師になりたい。

④立命館を一言で表現すると？

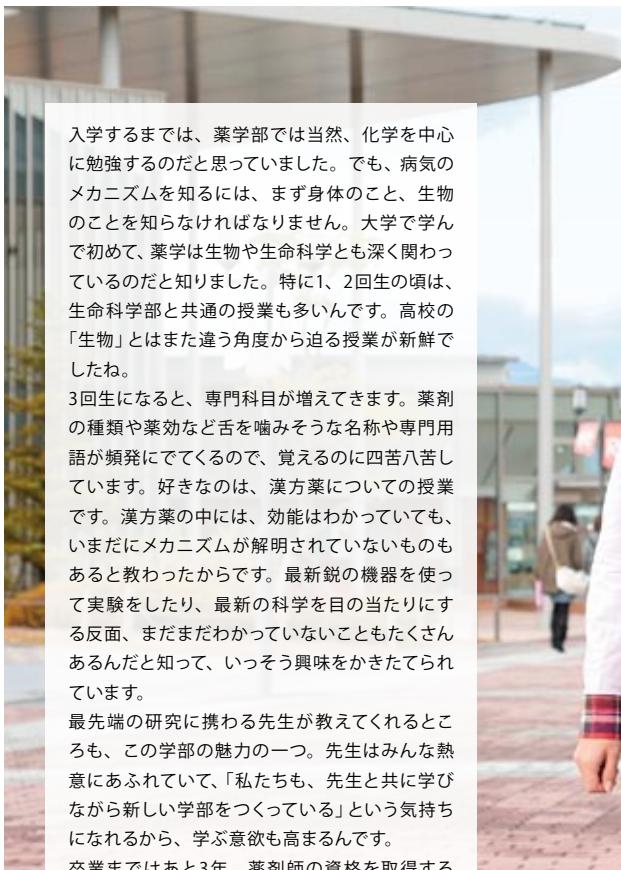
自分探しの場所。



不登校や非行といった子どもの問題について勉強したい。それも、教育学部ではなく、社会的な側面から子どもの問題に切り込んでいきたいと考えていた私にとって、産業社会学部子ども社会専攻はまさにうってつけでした。

産業社会学部の特長は、子ども社会専攻の授業はもちろん、人間福祉や現代社会といった他専攻の授業も学べる“クロスオーバーラーニング”。おかげで思い描いた通り、多様な側面から子どもについて学ぶことができました。加えて、正課の学びと実習や課外活動など実践的な学習とを組み合わせる“アクティブラーニング”も強みの一つです。私は2つの小学校でスクールボランティアを経験。クラブ活動や放課後の教室での自主学習を補助する中で、子どもの学びを支える経験を積みました。こうした実践にどんな学術的な意味があるのかを授業で学習。実践に理論が結びつく手ごたえを感じることが、学ぶ意欲につながっています。

教職課程を履修し、3回生の時には小学校での教育実習にも挑戦。教えたことが直接反応となって返ってくることにおもしろさを感じるとともに、勉強を教えるだけでなく、子どもの心身、そして将来にさまざまな影響を与える教師の役割の大きさとやりがいを実感。「教師になりたい」という思いを新たにしています。



入学するまでは、薬学部では当然、化学を中心勉強するのだと思っていました。でも、病気のメカニズムを知るには、まず身体のこと、生物のことを知らなければなりません。大学で学んで初めて、薬学は生物や生命科学とも深く関わっているのだと知りました。特に1、2回生の頃は、生命科学部と共通の授業も多いんです。高校の「生物」とはまた違う角度から迫る授業が新鮮でしたね。

3回生になると、専門科目が増えてきます。薬剤の種類や薬効など舌を噛みそうな名称や専門用語が頻発にでてくるので、覚えるのに四苦八苦しめています。好きなのは、漢方薬についての授業です。漢方薬の中には、効能はわかっていても、いまだにメカニズムが解明されていないものもあると教わったからです。最新鋭の機器を使って実験をしたり、最新の科学を目の当たりにする反面、まだまだわかっていないこともたくさんあるんだと知って、いっそう興味をかきたてられています。

最先端の研究に携わる先生が教えてくれるところも、この学部の魅力の一つ。先生はみんな熱意にあふれていて、「私たちも、先生と共に学びながら新しい学部をつくっている」という気持ちになれるから、学ぶ意欲も高まるんです。

卒業まではあと3年。薬剤師の資格を取得するのが第一の目標です。それに加えて「研究もおもしろそうだな」と思い始めています。



① 今この学部に入学を決めた理由は?

化学が好きだったこと、また将来活かせる専門性を身につけたいという思いから薬学部を選択。

② 興味深かった授業・ゼミは?

漢方薬について学ぶ授業。未解明の部分もあると知って、研究のおもしろさにも目覚めた。

③ 将来は何になりたい?

病院薬剤師になる! でも研究者もいのいな、と最近思い始めているところ。

④ 立命館を一言で表現すると?

可能性を増やせる大学。



坂上亜利沙

さん

薬学部4回生

山際恭平

さん

生命科学部4回生



Q&A

① 今この学部に入学を決めた理由は？

生物や生命現象のメカニズムを学ぶため。

② 興味深かった授業・ゼミは？

実験！ 分光光度計など高度な実験機器を使い、物質の性質を解析するのが楽しい。

③ 将来は何になりたい？

社会の人々と専門的な科学とをつなぐような役割を担いたい。

④ 立命館を一言で表現すると？

さまざまなチャンスがある大学。

好きだった理科の中でもとりわけ面白いと思ったのは、生物や生命現象のメカニズムを探究する生命科学分野。期待に胸を膨らませて、生命科学部に入学しました。まず予想を裏切られたのは、高校までのように生物・化学・物理といった別々の学問があるのではなく、生命現象の解明にはそのすべてが必要だと知ったこと。おかげで関心の幅もグンと広がりました。

楽しかったのは、やっぱり実験です。授業では、分光光度計などの高度な実験機器を使ってタンパク質を定量解析しました。ミクロの物質の性質が明らかになってくるとワクワクしますね。

また、この学部は、英語の授業も充実しています。「プロジェクト型授業」では、社会と科学の関わりについて調べ、英語でまとめて発表する機会がありました。レポート作成やプレゼンテーション能力も育まれ、英語力も格段に向上。授業とはいえ、国際学会に論文を発表するような緊張感を味わいました。

地球温暖化、遺伝子情報の解明など、ライフサイエンスは、まさに今、世界で起こっている最先端の問題と関わりがあり、おもしろい。今は、1つの専門分野を究めるだけでなく、生命科学と社会の関わりを考え、科学と人とを結びつけることにも興味が湧いてきています。

① 今 の 学 部 に 入 学 を 決 め た 理 由 は ？

コンピュータに興味を持ち、情報技術を学びたかった。2回生で学科を選択できることが決め手に。

② 興味 深 か っ た 授 業 ・ ゼ ミ は ？

研究室での学び。人と情報、人と人をつなぐおもしろさを体感した。

③ 将 来 は 何 な り たい ？

目指すはITコンサルタントかシステムインテグレーター。人と情報をつなぐ仕事をしたい。

④ 立 命 館 を 一 言 で 表 現 す る と ？

多様な道が拓ける大学。

高校時代からコンピュータを触るのが好きで、情報系を志望したものの、正直なところ、何を学びたいのかは漠然としていました。

大学に入ってまず驚いたのは、情報に関わるフィールドの広さ。授業でも、プログラミングなどの技術の修得はもちろん、工学や心理学、社会学など実に多様な側面から情報の事が学べます。

その中で次第に関心が向いていったのは、技術を磨くことよりも「人の役に立つために情報技術を活用すること」でした。そこで2回生の時、情報コミュニケーション学科を選択。とりわけ、ヒューマンコンピューティングインターラクションといった「人と情報をつなぐ」分野におもしろみを感じるようになりました。

一方、大学生活も満喫。2回生の夏には、アメリカ西海岸を北上するバスツアーに参加し、カナダ、ドイツ、オーストラリアなど世界各国の人たちとバスに乗り、宿泊先ではルームシェアしながら各地を巡りました。各国の友達ができたすばらしい旅でした。

3回生の後期、「認知コミュニケーション工学」を専門とする研究室に配属。今は人がそれぞれ持っている「パーソナルテンポ」を使って会話を盛り上げるようなコミュニケーションシステムの開発に取り組んでいます。将来も、人と情報をつなぐ仕事に就きたい。そんな気持ちが芽生えてきたのも、ここで学んだからだと思います。



大 西 宏 明
さん
情報理工学部 4回生

内田和宏

さん

経営学部4回生



Q&A

① 今の学部に入学を決めた理由は？

実用的で身近なことを勉強したいと思って。

② 興味深かった授業・ゼミは？

「産学協同アントレプレナー教育プログラム」。学部の授業だけでは見えにくかったビジネスをより身近に感じられるようになった。

③ 将来は何になりたい？

まずは就職活動！将来は、アジアを中心に活躍できる人間になりたいです。

④ 立命館を一言で表現すると？

自分のやりたいことができる大学。



高校では、もともと理系だったのですが、将来について考えるうちに「自分の興味のあることをしたい。もっと実用的で身近なことを勉強したい」と思うようになり、経営学部に入学。でも、どこかビジネスを遠い存在としか感じることができませんでした。そんな時、友達から「アントレプレナー」という授業があることを聞き、興味を感じて受講しました。授業では、企業の社長のお話を聞けたり、実用的なビジネスを学べるなど自分が学びたかったことと合致。これを機に積極的に受講するようになり、最終的には仲間とともにビジネスプランの提案ができるまでになりました。やりがいを持って学ぶことができたと思います。

また、2回生より中国の武漢大学、上海交通大学に交換留学。中国の視点で経済や国際関係について学んだことも今の自分の大きな成長につながっています。今までの経験を糧に将来は、アジアを中心に活躍する人材になりたい。これから本格化する就職活動では、それが実現できる仕事を見つけていきたいと考えています。

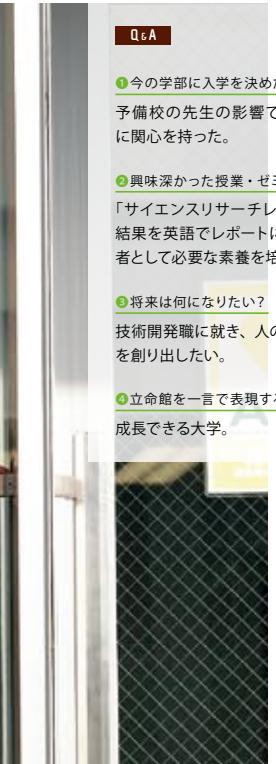
立命館大学には自分から一步踏み出せばやりたいことができる環境が整っています。新入生のみなさん！ぜひ、チャレンジ精神を持って、学生生活を過ごしてください。

物理や機械に興味を持ったのは、物理の先生から「最新の機械でも熱効率は50%にも満たない」という話を聞いたことがきっかけ。「これほどテクノロジーが発達しているのに、機械の効率ってまだ低いんだな」と意外に思い、それだけ発展の余地のある分野なのではないかと考えました。

研究室では、熱流体に着目。燃焼機の振動を制御する研究に取り組んでいます。燃焼装置を自分で作成し、燃焼実験を実施。大好きなモノづくり、それに実験・研究と、機械システムに携わる醍醐味を存分に味わっています。

研究では、英語の文献をひも解くこともあります。その力になっているのが、2回生の時に受けた「サイエンスリサーチレポート*」の授業です。実習で実験した結果を英語でレポートにまとめるのが目標。ネイティブの先生からスピーキングを中心に学んだおかげで、苦手だった英語が好きになっていたものの、学術的なレポートを英語で書くのは初めての経験でした。実験データや専門用語を織り交ぜながら、論理的に記述するには苦労しました。

2年間という長いスパンで研究し、専門性を高めたいとの思いから、大学院への進学を決意。いつか自分が開発したモノが社会で人の役に立つところを見てみたい。これからの自分の成長が楽しみです。



Q&A

① 今の学部に入学を決めた理由は?

予備校の先生の影響で、物理や機械に興味を持った。

② 興味深かった授業・ゼミは?

「サイエンスリサーチレポート」。実験結果を英語でレポートにまとめ、研究者として必要な素養を培えた。

③ 将来は何になりたい?

技術開発職に就き、人の役に立つものを創り出したい。

④ 立命館を一言で表現すると?

成長できる大学。

篠田 雄太

さん

理工学研究科博士課程前期課程1回生

*「サイエンスリサーチレポート」は、現在は開講していません。英語力の向上を図るためのプログラムとして3・4回生を対象にした English Diploma Course (略称「EDC」) を開講しています。

長谷川あづさ

さん

2011年3月 映像学部卒業

2011年4月より株式会社エンターブレイン(週刊ファミ通などの刊行)で勤務



映像学部は、私たちが一期生ということもあり、風土にとらわれすぎず、自ら歴史を作っていく環境でした。アットホームな中で学び、個性的な仲間たちと過ごした時間、手厚くサポートしてくれた先生方との出会いは、今後忘れない大切なものです。映像学部の4年間の学びの特徴は「専門的ながら広範囲に総合的なことを学べる」こと。映像やメディアといった領域だけでなく、経営戦略や企画デザイン、マーケティング、芸術などさまざまな分野に触れてきました。それらの学びを通じて、限られた期間や規模でいかに高い成果を出すためにタスク管理やチームマネジメントをするかなど、ノウハウを蓄積できました。さらには「やりたいことをとことん追求できる環境」が整っていたことも映像学部の魅力の一つ。例えば、ゼミでは学問分野が横断していても「自分がやりたいこと」の筋が通れば自由に学べるし、先生方も快く応えてく



れます。だから、やる気がある学生の裁量がとても大きい!

私が勤務する出版業界は、時代の変化や人々のニーズに合わせ、いかに柔軟且つ多様なコンテンツ発信ができるかなど、多くのテーマがあります。ですが、どんな壁に当たっても映像学部で身につけた問題解決能力が私を支えてくれると確信しています。今後、さらにステップアップできるよう頑張ります。

Q&A

① 今の学部に入学を決めた理由は?

もともと広告に興味があったが新設学部で自分の可能性を広げたいと思い入学を決意。

② 興味深かった授業・ゼミは?

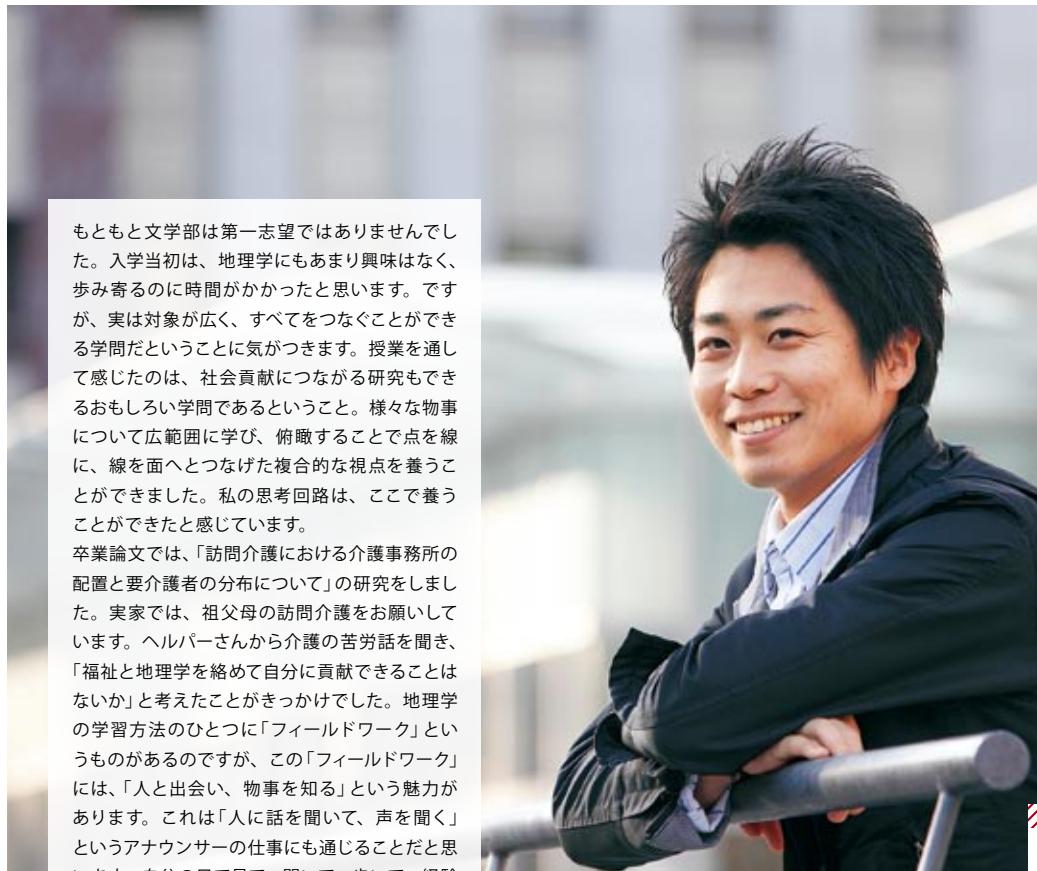
プロデュース実習、シミュレーション型の実践的なプランニングやプレゼンにチームで取組む。実際に企業の方が相手なので、力が入った。

③ 将来は何になりたい?

作品が愛され続けるためにその時代に沿った形でマルチに展開する! そんなエンタメ人間になりたい。

④ 立命館を一言で表現すると?

「千紫万紅」。いろんな個性が認められる空間。



もともと文学部は第一志望ではありませんでした。入学当初は、地理学にもあまり興味はなく、歩み寄るのに時間がかかったと思います。ですが、実は対象が広く、すべてをつなぐことができる学問だということに気がつきます。授業を通して感じたのは、社会貢献につながる研究もできるおもしろい学問であるということ。様々な物事について広範囲に学び、俯瞰することで点を線に、線を面へとつなげた複合的な視点を養うことができました。私の思考回路は、ここで養うことができたと感じています。

卒業論文では、「訪問介護における介護事務所の配置と要介護者の分布について」の研究をしました。実家では、祖父母の訪問介護をお願いしています。ヘルパーさんから介護の苦労話を聞き、「福祉と地理学を絡めて自分に貢献できることはないか」と考えたことがきっかけでした。地理学の学習方法のひとつに「フィールドワーク」というものがあるのですが、この「フィールドワーク」には、「人と出会い、物事を知る」という魅力があります。これは「人に話を聞いて、声を聞く」というアナウンサーの仕事にも通じることだと思います。自分の目で見て、聞いて、歩いて、経験したことを卒業論文で声にして発する。4年間の集大成として、しっかり取り組むことができて良かったです。

Q&A

① 今の学部に入学を決めた理由は?

さまざまな物事を広範囲に学べると思ったから。

② 興味深かった授業・ゼミは?

阪神・淡路大震災の被災地と被災者の関連性を自然地理学の観点から研究した講義が興味深かったです。これがきっかけで地理が好きになりました。

③ 将来は何になりたい?

聴取者の埋もれた声を自分から発信して伝えるアナウンサーとして活躍したい!

④ 立命館を一言で表現すると?

「塩・コショウ」。味を引き締める最後のひと振り。自分自身をいい方向にまとめることができた場所。

村田智啓

さん

2011年3月 文学部卒業

2011年4月より株式会社静岡朝日テレビにアナウンス職で勤務

+R Style

一人ひとりの可能性を伸ばす学びのフィールドは、正課の授業だけではありません。

国際的な視野を広げる海外留学。

学んだことを社会で実践するフィールドワークや、インターンシップ。

学生同士で学びあい、クラブ・サークルでの活動を通して自分を磨く。

正課の授業にプラスして、学べるものがたくさんある。

ここにも、あなたの+Rがあるかもしれない。

001

002

003

004

005

留学
をする

語学力
を伸ばす

資格
を取る

教師
を目指す

ボランティア
をする

この本の
使 い 方

【ポイント】

各プログラムのポイントや
立命館大学ならではの
特長を紹介しています。

【クローズアップ インタビュー】

先輩たちの体験談。
参加した動機や活動を通して得られたもの、
今後のビジョンなど熱い思いを語っています。

【私が感じたココが+R】

各プログラムの魅力について、
先輩たちの語りの場。
57通りの +R を紹介します。



【ワンポイント・アドバイス】

各プログラムについて、活動内容や参加する際の留意点、
アドバイス、よくある質問などを詳しく説明しています。



【基本情報】

各プログラムのラインナップや問い合わせ先などの基本情報を掲載。
より詳しい情報は各センター・オフィスの窓口へ。

006

007

008

009

ベンチャービジネス
に挑戦する

学生同士
で学びあう

課外自主活動
で自分を磨く

インターンシップ
をする

留学をする

- ▶ 目的や語学レベル、期間などで選べる多彩なプログラムを活用
- ▶ 年間およそ1,500人の学生が海外で学ぶ（2010年度実績）
- ▶ 27カ国・地域、123大学・機関から留学先を選択できる

長期留学をするなら、1回生のうちから
情報収集を欠かさずに！

留学を目指すときに、一番注意しなくてはいけない点。それはしっかりと卒業までの履修計画を立てることです。1年～2年の長期留学を考えるなら、学部の授業スケジュールや取得単位などとバランスをとらなければなりません。また、各プログラムの募集時期もそれぞれ異なります。気づいたときには募集が終わっているということもあります。早めの情報収集が留学成功への近道です。まずは国際教育センターが発行する「海外留学の手引き」をチェックしてください。国際教育センターHPには参加者募集・イベント情報、各種プログラムの概要が掲載されています。過年度の募集要項もダウンロードできます。→ http://www.ritsumei.jp/cger/index_j.html

- 海外留学プログラムの募集時期（一例）
夏期短期留学プログラム … 4月から募集開始
1セメスター留学プログラム … 4月から募集開始
春期出発長期留学プログラム … 6月から募集開始

三鼓 悠太 さん（産業社会学部4回生）

2008年8月～2010年8月 立命館大学・アメリカン大学学部共同学位プログラム（AU-DUDP）に参加



両親の薦めもあって、高校の3年間はスイスで過ごしました。せっかく勉強してきた英語を卒業後も勉強したいという思いと、社会に出て仕事で使うにはまだまだ自分の英語力が未熟だという思いがありました。立命館大学への入学を決めたのは、「アメリカン大学学部共同学位プログラム（AU-DUDP）」に魅力を感じていたからです。

アメリカン大学の講義は少人数形式で、ディスカッションも頻繁に行われます。そのため、テーマごとに自分の意見や考えが常に求められます。考えをまとめることに苦労しましたが、「英語が下手で笑われてもいいから、思い切って言う」と決めました。自分から行動



しなければアメリカでは誰も助けてはくれません。努力をすることと勇気を持つこと。そして、積極性が大切だと感じました。また、自分にとって当たり前のこととが相手には通じないという「カルチャーショック」も体験しました。相手の考え方や意見を大切にし、それを受け入れることが相手の理解につながるのだということを学ぶきっかけになりました。こうした経験は、現在ゼミでグループワークをする時の議論の活性化にも役立っています。

留学は楽なものではなく、時には壁にぶつかったり、塞ぎ込んだり、挫けてしまう事だってあります。それでも、学生のうちにできる貴重な体験。ぜひチャレンジしてもらいたいですね。留学に行くか行かないかで迷うのであれば、積極的に行くことをおすすめします！

Q & A

- ①始めたのはいつ？きっかけは？
高校3年間をスイスで過ごした。卒業後も英語の勉強を続けたいと思ったから。
- ②やってみてよかったです
外国人と日本人の考え方や視点の違いを知ったこと。貴重な体験ができた。
- ③これから挑戦したいのは？
TOEIC®や英語検定の資格取得に力を入れていきたい！
- ④立命館を一言で表現すると？
可能性を広げてくれる大学。多様なチャンスをしてくれる。それを拾う、拾わないは自分次第！



川島奈津美さん
(経済学部4回生)

2009年8月～10月
立命館・マコーリー大学「日豪関係」プログラムに参加



北薙龍一さん
(2011年3月経営学部卒業)

2011年4月より株式会社マクニカで勤務
2009年8月～2010年5月 アメリカ アラバマ大学に交換留学



吉田有樹さん
(文学部4回生)

2009年8月～2010年7月 台湾 国立台湾師範大学に交換留学

①新しい世界が見たくて。夏休み期間に行けるオーストラリアのマコーリー大学を選んだ。②留学先でいろんな人に出会う機会があったこと。知識や英語力、学びへの意欲など、自分に足りない所がたくさん分かった。③期間の長い留学に挑戦してみたい！④自由。チャレンジする人を応援してくれる大学。

①楽天の三木谷社長のように海外の大学で学んだことを、日本の経済に還元できる人への憧れから。②しっかり考えて話せば国籍は関係なく、同じ土俵で議論できると自信を持てたこと。③アジアで価値を生み出せる人間になるべく中国語を勉強中!! ④目標を叶える土台がある。

①高校時代、留学先のニュージーランドで台湾人のルームメイトと親しくなり、中国語を教わったことから。②語学力がついたことはもちろん、異文化に身を置き、自分を見つめ直したことで視野が広がった。③日本語教師になるのが目標。資格試験合格を目指す！④可能性のかたまり。



田板翔平 さん
(理工学部4回生)

2010年2月～3月
立命館・ボストン大学「英語研修」プログラムに参加



瀬戸口由華 さん
(法学部4回生)

2010年2月～3月 異文化理解セミナー (韓国) に参加

①今しかない長期休暇を利用して、新しいことをはじめたいと思ったから。②留学を通じて何事に対してもチャレンジ精神を持てるようになった！③アジアやヨーロッパなど今までにいたことのない国をバックパッカーでまわりたい！④チャレンジする環境が整っている。

①1回生の時に第2外国語で韓国語を選択。もっと勉強して現地の事も知りたいと思った。②積極的になった。帰国後も学内で留学生に声をかけています。友人も増えました！③将来は、韓国の素晴らしい文化を日本に紹介できるような仕事がしたい！④人生のターニングポイント。出会いやチャンスがたくさんある!!



派遣先大学・機関

ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC) (カナダ)
アメリカン大学、ワシントン大学、ボストン大学 (アメリカ)
モンテレイ工科大学 (メキシコ)
マコーリー大学、メルボルン大学 (オーストラリア)
南開大学 (中国)、高麗大学 (韓国)
ロンドン大学ロイヤルハロウェイ校 (イギリス)
チュービング大学 (ドイツ)
トゥールーズミラーウ大学 (フランス)
リンクネ大学 (スウェーデン) など123大学・機関

目標にあわせた3タイプの留学プログラム

立命館大学の留学プログラムは大きく3つに分かれています。

- イニシエーション型
語学力の増進と異文化体験を主要な目的としたプログラム
- モチベーション向上型
交換留学に準ずるレベルで、語学力を高めながら、外国語による講義を受けるプログラム
- アドヴァンスト型
正規の学部留学に匹敵するプログラムで、自分の専攻分野の学修を外国語で行うことを主要な目的とするプログラム
その他、学部・教学機関により独自に実施されているプログラムもあります。

語学力を伸ばす

- ▶ キャンパス内で世界の言語を学べる
- ▶ 学部の授業と並行して学ぶことでさらにレベルアップ
- ▶ 目標や興味に合わせたクラス編成

学部の外国語学習と合わせて語学力をさらにアップ

学部での外国語学習をベースに、さらなる語学力のアップを目指すために開講しているのが言語習得センター (Center for Language Acquisition : CLA) のプログラム。ここでは TOEFL® や TOEIC® 講座をはじめ、異文化理解や国際的な舞台での交渉力など「国際人」に求められる力の育成を目指しています。また、中国語や中国の文化を学ぶなら『立命館孔子学院』へ。中国の大学への留学制度も利用できます。



谷口直都 さん (政策科学研究科博士課程前期課程2回生)

2008年度 HSK 対策講座受講
2009年度 中国語講座準上級受講
2009年9月～2010年8月 中国 浙江大学に留学



中国語の勉強を始めたのは大学に入学してから。初修外国語として選択していましたが、「もっと勉強したい」と、孔子学院の講座を受講しました。勉強する中で特に苦労したのは「音」。聞いて話すことです。読み書きができるでも会話が出来ないと意味がありません。

単に中国語をマスターしたいというよりは、コミュニケーションをとる一つのツールにしたいという気持ちが強かったので、新しく覚えた単語や表



現をなるべく使ってネイティブの方と話すようにしていました。孔子学院にはネイティブの先生がいますし、立命館大学には中国からの留学生もたくさんいます。この環境も中国語の上達が早まった大きな要因になっていると思います。

入学当初は、「これがしたい」という明確な目標もなく過ごしていましたが、「全力で取り組めるものを1つ持っておこう」と決めていました。中国語と出会い、留学などの経験を通して人とのつながりの大切さを知りました。また、さまざまな国の方と交流することで視野も広がりました。

将来は、中国語を活かせるような仕事に就きたいですね。

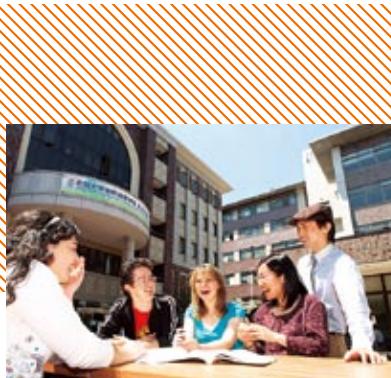
Q & A

①始めたのはいつ？きっかけは？
もともと中国史に興味が。せっかくなら英語以外の語学を勉強してみたいと思った。

②やってみてよかったです
中国の方とコミュニケーションが取れるようになったことで友人がより増えた。

③これから挑戦したいのは？
中国人留学生とのつながりを広げたい！日本の事をもっと知ってもらえるようにサポートしていきたい。

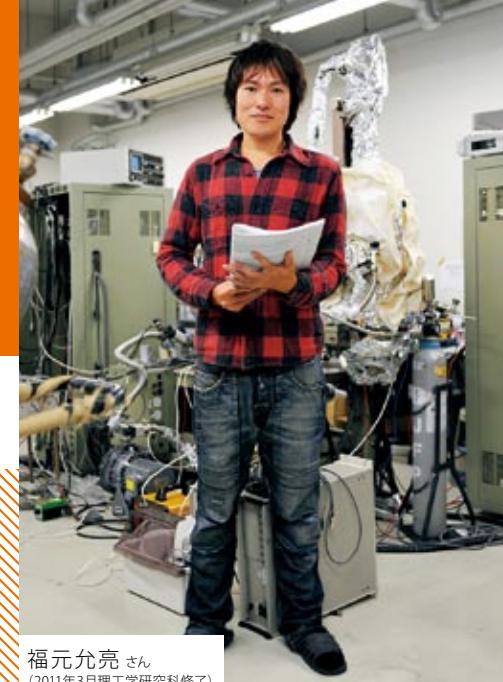
④立命館を一言で表現すると？
機会が多くある。でも、どんな道をつくるかは自分次第！



松山香菜子 さん
(文学部4回生)

2010年度 TOEIC® 講座受講
2010年度 立命館 USQ 英語イマージョンプログラムに参加し、オーストラリア
南クイーンズランド大学に留学

①高校生の時から英語が好きで、もっと力を伸ばしたいと思っていた。②講座は厳しかったけれど、TOEIC®のスコアが飛躍的にアップ。自分に強みができ、自信がついた。③TOEIC®950点が目標。点数だけではなくそれに見合う実践力を身につけたい！④自由な大学。



福元允亮 さん
(2011年3月理工学研究科修了)

2011年4月より日本アイ・ビー・エム株式会社で勤務
2009年8月～2009年9月 アメリカ・ロサンゼルスに留学
2009年後期 TOEIC® 講座受講
2010年前期 少人数 Discussion 講座受講

①漠然と海外で働きたいと思っていた所、先輩からTOEIC®を受けたほうがいいと勧められたから。②学ぶうちに英語をおもしろいと感じるようになった。意識の高い仲間にも出会えた。③もっと英語を話せる機会を増やしていきたい。④できないことは何もない。やろうと思えば何でもできる大学。

Question ①始めたのはいつ？きっかけは？ ②やってみてよかったこと ③これから挑戦したいのは？ ④立命館を一言で表現すると？



浅井 遥さん
(2011年3月 法学部卒業)

2011年4月よりトヨタテクニカルディベロップメント株式会社で勤務
2008年度 チャレンジ3級！フランス語検定対策講座受講 3級合格

2008年度 ヨーロッパスタディ参加

2009年度 フランス語検定対策講座（2級・準2級）準2級合格

①1回生の時に受講した初修外国語のフランス語の授業がたのしくて、「もっと勉強を続けたい！」と思うように。②読解力や発音もかなり上達!! ヨーロッパスタディで現地の人とフランス語で会話できたことが嬉しかった！③フランスに行つてみたい！④多彩な大学。学びも、人も、プログラムも。



篠原暢孝さん
(スポーツ健康科学部2回生)

2010年度 夏季 TOEFL®講座受講

2010年度 後期 TOEFL®-iBT講座受講

CLA開設プログラム（一例）

■ CLA 外国語習得講座

英語（TOEFL®、TOEIC®、少人数英会話講座など）
ドイツ語、フランス語、スペイン語、朝鮮語
(各プログラムごとに会話講座、検定対策講座を設置)

立命館孔子学院開設プログラム（一例）

中国語講座（入門～上級）、中国語検定対策講座、
新HSK対策講座、弱点克服講座、北京大学中国語
講座、通訳入門講座など

- 言語習得センター（CLA）…[衣笠] ランゲージセンター
1階 ☎ 075-465-7878 [BKC] アドセミナリオ1階 ☎
077-561-3358 <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/cla/index.html>
- 立命館孔子学院…[衣笠] アカデマイア
立命21内(国際平和ミュージアム2階) ☎ 075-465-8426
<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius/>

資格を取る

- ▶ 年間約6,000人の学生が資格講座を受講
- ▶ 進路に直結する資格やキャリアアップのための資格など多様な講座から選択できる
- ▶ キャンパス内開講に加え、授業のDVD貸し出しや学習室の利用など学びやすい環境がある

理想の進路に近づくための資格がある

理想の進路・就職を実現するために資格取得や就職試験合格を目指すみなさんをサポートするのがエクステンションセンターです。国家公務員や公認会計士などの難関進路をはじめ旅行業やマスコミなどさまざまなジャンルで講座を開講しています。学部での学びと並行して、キャンパス内で受講できる利便性もメリットの一つ。将来の目標を達成するために、エクステンション講座をどんどん活用してください !!



青木晋也 さん (2011年3月産業社会学部卒業)

2011年4月より法務省矯正局で勤務
2008年度 公務員講座低回生向けプログラム受講
2009年度 公務員講座国I合格コース受講
2010年6月 国家公務員I種試験合格



2回生で公務員講座を受講し始めた当初は、将来の選択肢の一つとして公務員を考えていたにすぎませんでした。けれど講座を受講してみると、講義がとてもおもしろくて。講師の先生の豊富な知識とわかりやすい語り口調で、毎回知らないことを次々と吸収できるのが楽しかったですね。

3回生になって、本格的に公務員を目指そうと決意。「どうせなら一番難しいレベルで勉強したい」という気持ちで国I合格コースを受講しました。授業は少人数制。先生との距離が近く、質問しやすい雰



囲気だったのがよかったです。前回と同じく授業が非常におもしろいので、難易度の高い内容にも興味を失わずにについていくことができました。苦しかったのは、4回生の春。民間企業を目指していた友達が次々と就職を決めていく中、試験を前に不安を抱えて勉強しなければならず、焦りが募りました。そんな時は、友達と他愛ない話をして息抜きをしたり、帰宅後はテレビを見るなど、勉強とのメリハリをつけ、上手に気分転換するよう心がけました。

入省後は、制度を整える立場から少年犯罪などの問題に関わっていく予定です。将来はこどもの成長と自立をサポートする仕事に携わるのが目標です。目標達成の途についた今、いっそうやる気に燃えています。

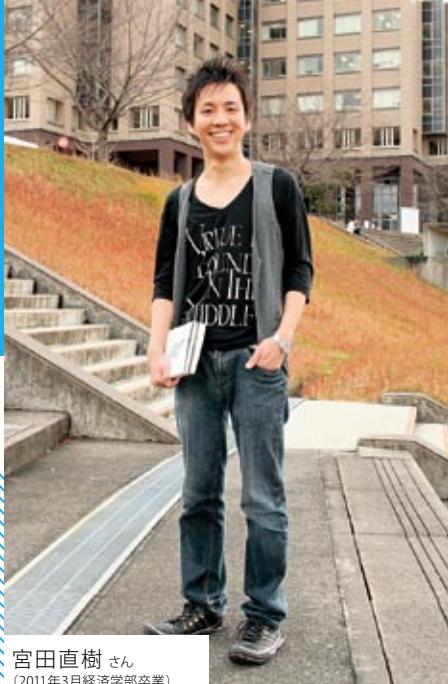
Q & A

①始めたのはいつ？きっかけは？
最初は進路の選択肢の一つとして、公務員の勉強を始めた。

②やってみてよかったです
難関の国！試験に合格。自分で立てた目標を達成できたことが大きな自信になった！

③これから挑戦したいのは？
政策立案という側面からこどもの成長と自立を支えたい。

④立命館を一言で表現すると？
「人」が魅力的な大学。



宮田直樹さん
(2011年3月経済学部卒業)

2011年4月より有限責任監査法人トマツで勤務
2007年12月～2009年8月 公認会計士講座受講
2009年11月 公認会計士試験合格

①授業で簿記を勉強し、日商簿記検定2級を取得。その時に公認会計士資格のことを知り、チャレンジしてみようと思った。②専門資格を得て可能性が広がった。何より難関試験を突破したことが自信になった。③今後は実践でより高い専門性を身につけたい。将来、上場企業をサポートするのが夢。④交差点。



石倉雄介さん
(2011年3月理工学研究科修了)

2011年4月よりフォスター電機株式会社で勤務
2009年度 Webクリエイター試験対策講座受講
2009年10月 Webクリエイター能力認定試験(上級)合格

①大学院の研究でWeb制作に挑戦しているので、スキルを身につけたいと思ったから。②試験で100点満点を取ることを目標に勉強。結果は99点だったけれど、高い目標を立て、それに向かって努力する力がついた。③就職先で世界一の製品を作りたい！④がんばる人を応援してくれる大学。



新納麻意さん
(経営学部4回生)

2009年度 旅行業講座受講
2009年11月 旅行業務取扱管理者試験(国内総合)合格

①昔から人を喜ばせる仕事がしたかった。ガイダンスで「旅行業講座」を知り、友人と一緒に挑戦！②旅行業の資格取得！毎週小テストがあり、覚えることも山のよう。でも、友人たちと助けあって乗り越えた。③旅行業に語学は必要不可欠。今はフランス語検定に向けて勉強中！④自分次第で可能性を無限に広げられる。



中山朋美さん
(政策科学部4回生)

2008年度 秘書検定講座受講
2009年1月 秘書検定準1級合格
2009年度 ファイナンシャル・プランナー(FP)講座受講
2010年1月 AFP・FP2級合格

①金融業界に興味があり、将来について考える際に役立つ知識を身につけられればと思ったから。②講座受講をきっかけに人脈が広がり、知識や資格以外に将来につながる貴重な財産を得た。③金融業界はもちろん、多様な業界にも興味がわいてきた。④積極的な人が集まっている大学。刺激がすごい！



富田梨紗さん
(2011年3月法学部卒業)

2011年4月 立命館大学法科大学院(既修コース)入学
2007年度 法曹・法律専門職講座 憲法入門コース、民法入門コース受講
2008年度 法曹・法律専門職講座、刑法入門コース、商法入門コース受講
2010年10月 立命館大学法科大学院(既修コース)合格

①昔から弁護士になりたいという想いがあった。自分の力で人の力になりたいと思ったから。②正課の授業との相乗効果でより法律の理解が深まった。③まずは、司法試験に合格する！クライアントの期待に応えられる弁護士になりたい！④「自分と向き合えた場所」。視野が広がり、自分を見つめ直すことができた。



開講講座(一例)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ■ 公務員 | ■ 貿易実務検定 |
| ■ 法曹 | ■ 色彩検定 |
| ■ 公認会計士 | ■ 秘書検定 |
| ■ 行政書士 | ■ 福祉住環境
コーディネーター検定 |
| ■ 司法書士 | ■ マスコミ対策 |
| ■ 税理士 | ■ ITパスポート |
| ■ 弁理士 | ■ 宅建 |
| ■ ファイナンシャル・プランナー | ■ パソコンスキルアップ |
| ■ 簿記検定 | |
| ■ 旅行業 | |
| ■ 通関士 | など多数 |



●エクステンションセンター… [衣笠] 研心館1階 ☎075-465-8297
[BKC] プリズムハウス2階 ☎077-561-2853 [朱雀キャンパス]
朱雀キャンパス1階 ☎075-813-8285
http://www.ritsumei.jp/extention/index_.html

教師を目指す

- ▶ 全学部（薬学部を除く）で教職課程を履修できる
- ▶ 学校実践研究（学校インターンシップ）・学校ボランティアへの参加で実践力を鍛える
- ▶ 教職支援センターが教員採用試験をバックアップ

教師を目指すなら、
1回生から教職課程を履修しよう！

多彩なカリキュラムや海外留学プログラムなどを幅広く履修できる総合大学のメリットを活かして学びを深めよう。立命館大学は毎年教員採用試験の合格者数で全国トップクラスの実績を誇っています。全学部（薬学部を除く）の中学校・高等学校の教職課程に加え、産業社会学部現代社会学科子ども社会専攻には小学校の教職課程を設置しています。また、子ども社会専攻以外の学生でも小学校教諭一種免許状が取得できる、小学校教諭免許状取得プログラムも開設されています（学部1回生を対象に毎秋募集予定・選考有・受講料別途要）。教師を目指すみなさんへ、1回生から教職課程の履修を始めましょう！

教職支援センター

教職支援センターでは、教員志望のみなさんの合格をサポートするために、教員採用試験に関する相談対応や対策講座を実施しています。現場経験の豊かな講師陣が常駐していますので、気軽に訪問してみてください。

豊田あづさ さん（法学部4回生）

小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状社会、高等学校教諭一種免許状公民の取得を目指す
小学校教諭免許状取得プログラム（聖徳大学協定方式）受講
2010年度学校インターンシップに参加
教職支援センター教員採用試験対策講座受講

Q&A

①教師は、小学・中学時代からのあこがれの職業。小学校でのインターンシップに参加して子どもの成長に影響を与える教師になりたいと思った。②目標が明確になった。「やればできる！」という自信がついた。③長期間での学校インターンシップに挑戦し、経験と出会いを増やしたい。④自主性を重んじる大学。

今も心に残るステキな思い出をたくさんつくれた小学校の担任の先生をはじめ、すばらしい先生との出会いを通して、教師にあこがれるようになりました。

将来の進路選択が現実味を帯びてきた2回生の時、「どうして先生になりたいのか」を改めて自分に問うべく小学校でのインターンシップにも参加。「心も身体も自覚ましく成長する小学生の教育にこそ携わりたい」と強く思うようになりました。

3回生で中高免許からの志望変更をサポートしてくれたのが、立命館大学と聖徳大学とが協定する小学校教諭免許状取得のプログラムです。通信教育で免許を取得できるところにひかれ



て受講したのですが、勉強は思った以上に大変でした。ふだんは1限から6限の終わる夜8時まで、法学部の講義と中高免許取得のための教職課程の授業を受講。帰宅後は、通信教育のテキストを開き、レポート作成やテスト勉強が続きます。苦しい時もありましたが、立命館大学で開かれる小学校教諭免許状取得プログラムの夏期スクーリングで、教員を目指す友達がたくさんでき、目標や悩みを分かち合うことで、ずいぶんと力づけられました。苦しい時にもくじけず、自分を追い込む経験をへて手にしたのは、「やればできる！」という自信。子どもに信頼され、辛い時に支えてあげられる先生になるのが目標です。



藤崎徳大 さん(2011年3月文学部卒業)

2011年4月より静岡県の公立高等学校教員として勤務
中学校教諭一種免許状社会、高等学校教諭一種免許状
地理歴史・公民の取得を目指す
学校インターンシップに参加
教職支援センター教員採用試験対策講座受講
教職課程自主ゼミ「オーデリー」の中心メンバーとして活動
教職支援センター教員採用試験対策講座受講
学校ボランティア、ES(教育サポート)活動にも参加

①高校3年生で進路に悩んでいた時、担任の先生が支えてくれた。その時「教師になる」という夢が確固たるものに。②生徒の成長を間近で見ることができる。③生徒と目標を共有して一緒に成長していきたい！④かけがえのない仲間に出会えた場所。共に学び、遊び、同じ目標に向かって高め合える仲間ができました。



森本晃介 さん(産業社会学部4回生)

中学校教諭一種免許状社会、高等学校教諭一種免許状
地理歴史・公民の取得を目指す
学校インターンシップに参加
教職支援センター教員採用試験対策講座受講
教職課程自主ゼミ「オーデリー」の中心メンバーとして活動

①教師である両親から仕事のやりがいを聞いて憧れるように。②教師を目指す過程でいろんな友達ができ、多様性を培えた。③もっと視野を広げるべく、さまざまな活動に取り組みたい。音楽もその一つ。友達とライブをするつもり！④「世界」がいくつもある多様な大学。



舟越郁奈 さん(生命科学部4回生)

中学校教諭一種免許状理科、高等学校教諭一種免許状
理科の取得を目指す
学校インターンシップに参加
教職支援センター教員採用試験対策講座受講

①中学校時代、部活の試合で悔しい思いをした時にかけてくれた先生の言葉に感動し、教師という職業に魅力を感じた。②教職課程や学校インターンシップを通して、学部や大学を超えた繋がりが出来た。③教師の職に繋がることだけではなく、色んな事に挑戦。④可能性を広げてくれる場所。



後藤恵佑 さん(2011年3月理工学部卒業)

2011年4月より名古屋市の公立中学校教員として勤務
中学校教諭一種免許状理科、高等学校教諭一種免許状
理科取得
教職支援センター教員採用試験対策講座受講、学校ボラ
ンティア、ES(教育サポート)活動にも参加

①中学校の担任の先生に対する憧れから。②学校ボランティアを経験し、現場に対する想像と現実の違いがよくわかった。忙しいが、やりがいのある仕事だと再認識できた。③理科が苦手な子どもたちに「おもしろい」と思われる授業をすること。④共に学びあえる仲間がいる。コミュニティーが作りやすい大学。

ボランティアをする

- ▶ 社会の一員としての責任感や積極性、協調性を身につける
- ▶ 環境、国際、福祉など様々な分野でボランティア活動を実施
- ▶ 何でも相談できる専門のコーディネーターがサポート

「ボランティアをしてみたい」という気持ちを後押し

地域に参加し、地域に学ぶ。ボランティア活動は、まちと人の豊かさを創りだす活動です。活動内容は、福祉、環境、地域づくりから国際的なものまで多岐に渡ります。子どもたちと地域を結ぶ取り組み、里山や都市と農村の共生を目指すプログラム、歴史都市京都の「小倉山」環境整備、京都伝統の行事である「時代祭」のサポートなどにも多くの学生が取り組んでいます。「興味があるけれどうしたらいいの?」という方はぜひボランティアセンター・障害学生支援室へ足を運んでみてください。



宮内 雄飛 さん (理工学部2回生)

2010年7月～BIWAKO ビエンナーレ「琵大生」(NPO 法人エナジーフィールド)のボランティアスタッフとして活動を開始、現在も活動中。

Q&A

①ボランティアを紹介するイベント「レッツサマーボランティア」に参加し、興味を持った。②文系学生、他大学生、地域の方々など多くの人と知り合い、視野が広がった。③中国との交流ボランティアや海外インターンシップなど語学力を活かした活動に取り組みたい。④可能性への扉。



文系学部の学生や他大学の学生、近江八幡の地域の方やアーティストの方々とも親しくなりました。私の顔を覚えてくれた地域の方々が、「頑張ってね」とかけてくださる声に、元気づけられましたね。メンバーの1人として参加するだけではなく、NPOを運営する立場に立ち、主体的に活動したのは初めての経験でした。みんなの士気が上がるようになると、スタッフだけのナイトツアーを企画。光に浮かび上がる美しいアート作品を見て回り、やりがいを再確認しました。組織をまとめたり、新しいメンバーを募ったり。そうした貴重な経験の数々を今後は他の活動にも活かしたいです。



勝野浩司 さん (産業社会学部3回生)

2009年6月～ 学生ボランティアコーディネーターとして活動
2009年度 社会福祉法人西陣会での児童館のボランティアに参加



福永光子 さん (文学部2回生)

国際ボランティア学生協会 IVUSA 所属



高橋千絵 さん (産業社会学部3回生)

障害学生支援室 学生スタッフ

①ボランティアに興味があり、説明会に参加。学生コーディネーターの活動を知った。②大学で勉強したことを探場で体験し、「こういうことだったのか」と理解が深まった。③NPO法人でのインターンシップや他のボランティアにも挑戦したい。④「成長したい」という思いに応えてくれる大学。

①大学入学前から「人の役に立つ事がしたい。誰かを笑顔にしたい！」という思いが強かった。入学後、熱い思いを持った先輩の話を聞いて「これだ！」と思った。②学内外を問わず、たくさんの人と交流することができた。いろんな刺激を受けています！③危機対応講習で上級を取得したい！④想像力豊かな人が多い大学。とにかくいろんな人がいます。

①「障害のある方々の力になりたい」とパソコンテイクの講座に参加したことがきっかけ。②「ありがとう」という言葉をかけられた時は本当にうれしい。活動を通して、いろんな人に出会うことができたことも。③ボランティアを企画・運営するNGOのインターンシップに参加したい。④たくさんの可能性があるところ。自分次第で、いくらでも可能性を広げることができる。やりたいことができる場所。

Question ①始めたのはいつ？きっかけは？ ②やってみてよかったです ③これから挑戦したいのは？ ④立命館を一言で表現すると？

サービスラーニングセンター（ボランティアセンター）

ボランティアセンターには、福祉・環境・地域づくりなど、様々な分野に関するボランティア情報が集まっています。ボランティア活動を始めるきっかけづくりとなる講座やイベントも定期的に開催。また「コーディネーター」とよばれるスタッフがボランティア活動に関する相談にのっています。

■ 各種イベント

ボランティアサークル合同ガイドンス

夏休み向けボランティアガイドンス

ボランティア体験プログラム

■ 開講授業

地域参加活動入門

地域活性化ボランティア

ボランティアコーディネーター養成プログラム

障害学生支援室

身体に障害のある学生はもちろん、サポート学生、障害学生を担当する教職員の三者を支援しています。

■ 各種イベント

サポートスキルアップ講座

交流イベント

障害についての学習会 など

●サービスラーニングセンター（ボランティアセンター）…[衣笠1学而館1階 ☎075-465-1952 「BKC」セントラルアーケード 学生ルーム ☎077-561-5910 http://www.ritsumei.jp/pc/index_.html ●障害学生支援室…[衣笠]学而館1階 ☎075-465-1952 <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/drc/>

ベンチャービジネス に挑戦する

- 大学－企業－地域間の強力なネットワークの基盤を活かす
- 活動拠点や奨励金制度など、サポートも多彩
- 授業で起業を学ぶ

あなたのアイデアがビジネスになる

独自のアイデアを基に新規事業を立ち上げるベンチャービジネス。みなさんのフレッシュなアイデアが起業へつながる可能性は大きいあります。立命館大学には、ベンチャーコンテストや活動の拠点となるBKC学生ブリインキュベーションルーム、学生起業家支援奨励金制度など、起業を目指す学生のサポート体制があります。また、BKCでは「产学協同アントレプレナー教育プログラム」も開講。自分の知識とアイデアで勝負してみてはどうでしょう？



松平 幸子 さん（経営学部4回生）

2009年 学生ベンチャーコンテスト京都中央信用金庫賞受賞
2010年 台湾のビジネスプランコンテスト「Global Tic 2010」テクノロジー部門優勝

Q&A

①経営について学んだことを実践したいと思い、ビジネスに興味のある学生が集まつた。②国籍も考え方も異なる人と力を合わせ、想像以上に大きな成果をあげられることを実感。③作ってきたビジネスプランをかたちにしたい。④やりたいことを実現するためのきっかけがたくさんある大学。



合うよう計画通りにプロジェクトを進めること。日本、インド、インドネシアなど各国混成のメンバーは、考え方も価値観もさまざま。時にぶつかる意見を調整しながら開発を進め、プレゼンテーション用の資料を作る日々。準備に追われ、夜を明かすことも。一方で豊かな個性を合わせることで、思いもよらない大きな成果をあげられることも実感。2010年秋、台湾で開かれた国際的なビジネスプランコンテストのテクノロジー部門で優勝した時は、とても嬉しかった！いつか日本とアジア、世界を結ぶようなビジネスを起業したいですね。

学部で経営について理論的に学ぶほか、产学協同アントレプレナー教育プログラムに参加。起業家や経営者の方と話す機会もあり、大きな刺激を受け、起業家を目指す学生団体“Innovision（イノビジョン）”を立ち上げました。

「名刺管理ソフトiMeishi」を開発してWeb上でサービスを展開するビジネスを考案。私たち文系メンバーがビジネスモデルや経営戦略を考え、留学生を中心とした理系チームがソフトウェア開発を担当して、その成果をビジネスプランコンテストで発表してきました。

大変だったのは、メンバーをまとめ、コンテストに間に



垣内俊哉 さん (経営学部4回生)

株式会社ミライロ代表取締役社長 (2010年設立)
2009年、学生団体 Value Added Network を創業。
創業から今日までビジネスコンテストで13の賞を受賞。



富浪真樹 さん (経営学部5回生)

2011年度より株式会社ローガスで勤務
産学協同アントレプレナー教育プログラム受講
2009年度、学生ベンチャーコンテスト最優秀賞、
第1回徳島活性化コンテスト最優秀賞受賞



中上千聖 さん (理工学研究科博士課程前期課程1回生)

2009年 台湾のビジネスプランコンテスト
「Global Tic 2009」Join Award 受賞



BKCの6学部の学生を対象に開発されたプログラムです。
何事にも高いモチベーションで挑み、自ら学び自ら考えることのできる人材の育成を目的に実践的なカリキュラムで構成されています。



❶自分にできることはなにかを自問した結果、見えた道が「起業」でした。❷家族以上に信頼できる仲間と出会い、みんなと一緒に学び、成長できることです。❸障害をマイナスと捉えるのではなく、価値とする『バリアバリュー』な社会の創造を目指します。❹出会いは運命。この環境を活かすのは自分自身。

❶入学式のステージでVBC（ベンチャー・ビジネス・コミュニティ）の先輩が話をしているのを見て、ベンチャーに興味を持った。❷活動を通して、全国各地に立命館大学生以外の友達ができたこと。❸今までの自分の経験を、ブログを通して多くの人に伝えたい。❹いろいろな個性が集まる場所。

❶考えたビジネスプランを実現したいという気持ちが湧いて。❷論理的に考え、レポートをまとめ、人前でわかりやすく発表するチカラがついた。また、そのビジネスプランを実現したいと企業からオファーがあったこと！❸ビジネスプランを絶対に実現させたい！❹女性も思いっきり活躍できる大学。

Question ❶始めたのはいつ？きっかけは？ ❷やってみてよかったです ❸これから挑戦したいのは？ ❹立命館を一言で表現すると？

●学びステーション（学生起業家支援奨励金制度、BKC 学生ブレイブキューーションルーム）…[BKC] ブリズムハウス1階 ☎ 077-561-4972 ●理工リサーチオフィス（学生ベンチャーコンテスト、BKC インキュベータ）…[BKC] テクノコンプレックス1階 ☎ 077-561-2802 ●経営学部事務室（産学協同アントレプレナー教育プログラム）…[BKC] アドセミナリオ1階 ☎ 077-561-3941 <http://www.ritsumei.ac.jp/ba/entre/>

学生同士で学びあう

- ▶ 教えることで自分自身もステップアップ
- ▶ 目標となる先輩がすぐそばにいる
- ▶ リーダーシップ、コミュニケーション能力を磨く

あなたも参加してみませんか？

立命館大学には、学生同士が学び合い、互いに成長する独自の仕組みがあります。新入生のサポート役、教員と学生のパイプ役、留学生との交流を促進する役割とその活動は様々です。大学のあちこちで見られる学びのスタイル。教えることを通して、本質を理解する力が身につきます。



篠田 礼奈 さん（理工学研究科 博士課程前期課程1回生）

学生 ES（教育サポートー）

Q&A

①先輩学生 ES の姿を見てやってみたいと思った。大学院での学びの基礎固めに。②担当している授業で、低回生にきちんと教えられたとき。自分自身の勉強の復習にも役立った。③大学院で、研究を頑張りたい。④とにかく大きい。出会いの数もその分だけ多い。

授業時、学生の学びのサポートをするのが学生教育サポートー（ES）。1、2回生の演習時に担当してくれた先輩学生 ES の姿に憧れて興味を持ち、私も4回生から始めることにしました。2回生のプログラミング演習の担当になり、初めは学生からの質問にうまく答えられないことも多く、その悔しさと反省から、一に予習、二に予習の毎日。

答えられる自信がついてからは、もっと学生 ES を活用してほしいと思い、自分から積極的に声をかけられるようになります。的確なアドバイスが出来た！と思えた時の喜びはひとしおです。



本来は教える立場なのですが、逆に受け持っている学生から教えてもらうことがあったり、気づかされたりすることもあります。「学び合える」ことも学生 ES の醍醐味の一つかもしれません。

学生 ES での経験で、プログラミングの基礎を再確認出来たので、これから大学院生活や研究室での学びに活かしたいと思っています。

新入生のみなさん！先輩たちはみなさんの味方です。学業面でわからないことがあったら、TA（ティーチング・アシスタント）や学生 ES を頼って、勉強も頑張ってくださいね。



鈴木祐太 さん (法学部4回生)

学生 FD (Faculty Development) スタッフ

①「何気なく受けっていた」授業を見つめ直してみようと思ったから。②「大学職員」という仕事について考えるようにになり、将来の進路を考えることに繋がった。③みんなにもっと自分の大学について考えてもらえるようなきっかけをつくりたい。④「可能性が多分にある場所」。学部に捉われないようにも、学部らしくも出来る。色々な刺激を受けます！



大野大輔 さん (2011年3月法学部卒業)

2011年4月より帝人株式会社で勤務
2010年5月よりJA (ジュニア・アドバイザー) として活動

①イベントを企画したり、後輩の就職活動をどうサポートするかを考える中で、企業に入って必要となる力を培えると思ったから。②みんなの意見をまとめ、力を合わせて目標を達成する経験を積んで、ひと回り成長した。③とにかくいろんなことに挑戦したい！④自分で描くべきまっさらのキャンバス。



塙瀬雄大 さん (政策科学部3回生)

2011年度政策科学部自治会オリター団 団長

①やりがいを持って活き活きとオリター活動をしている先輩の姿をみて。②信頼できる仲間と出会うことができた。コミュニケーション能力も高まった！③英語と韓国語を勉強中。もっといろんな人とコミュニケーションできるようになりたい！④良くも悪くも熱い大学！たくさんのつながりがある。来てよかったです。



■ オリター・エンター
学習支援や生活面でのサポート、自治活動など、新入生が大学生活にスムーズに馴染むための援助を行います。

■ エデュケーション・ソーター (ES)
授業の補助や自学自習のサポートなど、教員と学生をつなぐ役割です。

■ ジュニア・アドバイザー (JA)
就職活動の体験に基づいて後輩へ助言・援助を行う就職内定者

■ プレスメント・リーダー (PL)
各ゼミ、クラブ、サークルから選ばれる就職活動のリーダー

■ その他
レインボースタッフ、ライブラリースタッフ、学生広報スタッフ、留学生チーフ (TISA)、留学アドバイザー、学生FDスタッフ、ティーチング・アシスタント (TA)、オープンキャンパススタッフ、キャンパスナビゲーターなど

課外自主活動で自分を磨く

- 約600の課外自主活動団体に学生の半数以上が参加
- 知識や技術を高めて、目標へ挑戦
- 文武両道とチームワークで人間性を高める

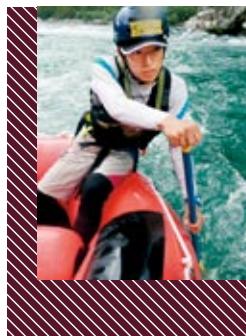
課外自主活動のすすめ

ひとつの目標に向かって仲間と切磋琢磨する課外自主活動は、協調性や社会性、リーダーシップといった人間的成长を促すだけでなく、これから的人生においても大きな財産となります。立命館大学では、約600のクラブ・サークルが活動しています。もちろん、新しく団体を作ることも可能です！



河野 修平
さん（文学部4回生）

探検部 2010年度主将
2010年 日本洞窟学会第36回大会ポスター発表1位



「俺たちはどこにでも行ける」。入学間もない頃、校舎の壁に貼られた勧誘ポスターのこの言葉に惹かれ、探検部に入部しました。

探検部は、学術サークルです。誰も調査したことのない場所を調べ、発見したことを論文にまとめたり、学会や地域の専門家に報告したり、学術的な成果をあげるのが目標です。思い出深いのは、高知県の洞窟で行った発掘調査。なんと縄文時代の人の生活の痕跡を発見！縄文遺跡である可能性を見出した時は、胸が躍りました。この成果を2010年9



月の洞窟学会で報告し、ポスター発表で見事1位を獲得しました。

人里離れた山奥でテントを張ってキャンプしたり、洞窟内を探索したり、ボートで川を下ったりと、探検ならではのアドベンチャーももちろん体験します。危険の伴う活動だけに、日々の訓練や先輩のアドバイスは欠かせません。いつも真剣だからこそ、どう技術を磨くのか、どんな活動に取り組むか、部員同士でぶつかることもしばしば。その中で、「こいつがないと今の自分の成長はない」と思える仲間に恵まれたことが、一番の財産です。

活動する内容は何でもいい。大切なのは「本気でやる」こと。本気で苦しんで、本気で壁を乗り越える。その過程でこそ成長できると、実感しています。

Q & A

①始めたのはいつ? きっかけは?
ポスターの勧誘コピーに惹かれて。

②やってみてよかったです
辛いことも、楽しいことも、一緒に乗り越えた仲間を得た。

③これから挑戦したいのは?
自分が経験したように、頑張る後輩をサポートしたい。

④立命館を一言で表現すると?
スマートフォンのような大学。アプリケーションはたくさんある。自分のやりたいことを選び、オリジナルのスマートフォンを作れる。



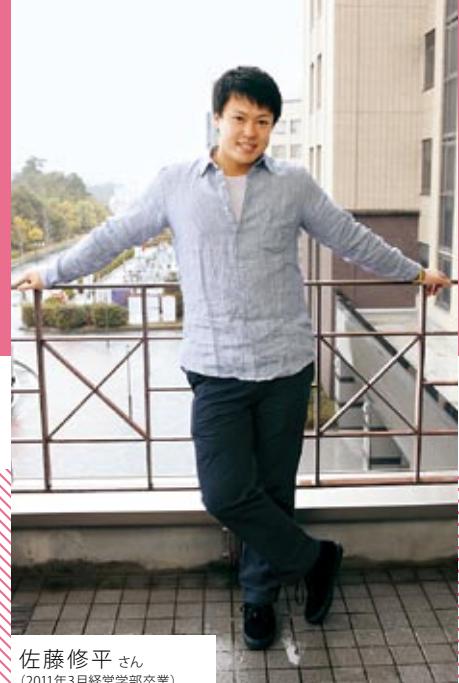
宮川典子さん
(経済学部3回生)

新演劇研究会「劇団月光斜 Team BKC」



石井卓也さん
(理工学部3回生)

内燃機関研究会



佐藤修平さん
(2011年3月経営学部卒業)

2011年4月より三菱東京UFJ銀行で勤務
体育会アメリカンフットボール部 2010年度主将
2010年関西学生アメリカンフットボールリーグ 優勝
全日本大学選手権・決勝「第65回毎日甲子園ボウル」 優勝

①家族と一緒に演劇の観覧に行き、その魅力のトリコに。入学後は、私も演劇の世界に入ると決めていた。②カーテンコールを浴びた瞬間の感動は他では味わえない！本番までの苦労が一気に報われます。③自分の脚本で劇を作り、お客様に喜んでもらいたい！④「経験のマーケット」。頑張った分だけ経験がもらえる。

①もともとモータースポーツは好きだった。理工学部の合同プロジェクトで内燃機関研究会の存在を知り興味を持った。②自分の作った車を走らせた時が最高の瞬間。正課では得られない経験や知識を得られた。③全日本フォーミュラ大会で、総合順位6位以上を目指したい！④新しいことに挑戦できる場所。

①高校でアメフトを始める。②関西リーグで3位という低迷時に主将に。約170名の部員を1つにまとめ、ゼロからの挑戦。翌年、学生日本一に返り咲く。辛いことも乗り越える強さが身についた。③培った経験を今度は社会人として生かしたい。④四季のような4年間。4回生で満開の春を迎えた。

Question | ①始めたのはいつ？きっかけは？ ②やってみてよかったです ③これから挑戦したいのは？ ④立命館を一言で表現すると？



大野陽子さん
(産業社会学部4回生)

体育会柔道部 2011年度女子主将
第26回全日本学生柔道体重別選手権大会 女子70kg級 優勝

①小学1年生の時、友達に誘われて近くの道場に通い始めた。②2010年、70キロ級で学生日本一に！周囲のみんなが自分以上に喜んでくれたことが嬉しかった。③国際大会にどんどん出場して、いつかオリンピックに出たい。④文武両道の大学。柔道に打ち込みながら、正課の学びも頑張った。



園田絵里子さん
(2011年3月文学部卒業)

体育会ゴルフ部 2009年度主務
2009年 関西女子学生ゴルフ選手権 優勝
2010年 全国女子大学ゴルフ対抗戦 最優秀選手
2010年度 LPGA プロテスト合格
2010年4月よりプロゴルファーとして活動中

①中学3年生の時、父に勧められて。②関西女子学生ゴルフ選手権優勝！また団体戦に出場したり、合宿や遠征にかけたり、楽しいこと、辛いこと、クラブならではの経験をたくさん積んだことが糧になった。③2010年プロテストに合格。プロのツアーに出場するのが新しい目標。④楽しい大学。



●学生オフィス…[衣笠] 研心館2階 ☎ 075-465-8168 [BKC]
セントラルアーク1階 ☎ 077-561-3952 ●スポーツ強化オ
フィス…[衣笠] 研心館2階 ☎ 075-465-7863 [BKC] アスリー
トジム1階 ☎ 077-561-3977

インターンシップをする

- ▶ 学部の学びを実社会で確かめられる
- ▶ 充実した経験にするための事前事後研修で学びを深める
- ▶ 単位認定されるプログラムも

インターンシップとは

大学の学びを企業や自治体等での就業体験を通して再確認することがインターンシップの目的。多くは3回生の夏休みに参加し、年間のべ1,000人以上の学生が取り組みます。企業や自治体、NPO団体など受け入れ先は多種多様。机上で学ぶことと実際に働くことの違いや、そこから見えてくる職業観など社会を知るチャンスです。まずはガイダンスやセミナーなどへの参加やホームページを通じてリアルタイムでの情報収集を。



浜根 佑輔 さん（2011年3月経営学部卒業）

2011年4月より西日本旅客鉄道株式会社で勤務
2009年8月 株式会社滋賀銀行で協定型インターンシップを経験



仕事の現場を直接肌で感じたくて、夏休みの6日間、銀行のインターンシップに参加。社会人の方々から、仕事に対する価値観や意識を少しでも学びたいと思ったからです。

学生でも、社会人と同等に扱われるインターンの現場。甘えは許されません。知識が不十分でお客様にご迷惑をお掛けすることもありましたが、何かあれば報告し、相談するという基本的なコミュニケーションの大切さを実感しました。

最終日のグループワークでは、学生コーディネーターの代表をしていた経験からミーティングの進め方や班の構成を担当。チームの力を最大限発揮で



きるよう役割分担し、業務内容のプレゼンテーションを成功させることができました。

僕が感じたのは、コーディネーターとしての経験がインターンにつながり、その経験が就職活動や社会生活につながるのだということ。全て積み重ねなのだと実感しました。

4月からは鉄道会社の不動産部門で駅周辺の土地開発を担当します。幼い頃から街づくりに興味があり、西日本という広いエリアに影響を与えるれる点にやりがいを感じます。将来は「目的地になるような駅を作ること」が僕の夢です。

立命館大学は、学生のやりたいこと、叶えたいことをサポートしてくれる場所。変化を恐れず、自分からいろいろなことを体験していってください。

Q & A

❶始めたのはいつ？きっかけは？
現場を知り、仕事に対する価値観や意識を学びたいと思って。

❷やってみてよかったです
今までの経験を活かして、プレゼンテーションを成功させたこと。他大学の学生とも仲良くなれた。

❸これから挑戦したいのは？
駅周辺の土地開発に携わっていきたい。目標は、「目的地となるような駅を作ること」。

❹立命館を一言で表現すると？
変化を拒まずに受け入れてくれる大学。



谷口久美子さん
(映像学部4回生)

2010年 上新電機株式会社で協定型インターンシップを経験



森本直毅さん
(法学部4回生)

2010年 京都信用金庫で協定型インターンシップを経験



五十嵐貴紀さん
(経営学部4回生)

2010年 オリックス株式会社で協定型インターンシップを経験

①もともと「接客業」に興味が、「顧客目線」を大事に経常している点が、マーケティングの視点から見て面白そうだと感じたから。②自分の行動に責任を持つようになった。他大学の学生や社会人の方と接する中でコミュニケーション能力や積極性が身についたと実感！③身についた積極性を活かして、まずは就職活動を頑張りたい！④自分の可能性を広げられる場所！

①金融業界に興味があり、仕事の実態を知りたかった。
②地域の中小企業への営業に同行するなど仕事を垣間見て、金融にかかわらず「人を支える仕事」にやりがいを見出した。③ファイナンシャルプランナーの資格を取りたい。あとは就職活動をがんばる！④やりたいことを実現できる大学。

①興味のあった金融業界についてもっと知りたくて。②実際の営業活動に同行した他、プロ野球チームを活性化させるビジネスプランを提案するという課題にも取り組んだ。金融業界の仕事を垣間見ることができた。③もっと自分を高めたい。④便利な大学。いろんなチャンスを提供してくれる。



江尻直幸さん
(理工学部4回生)

2010年 株式会社カース・キャリアセンターで協定型インターンシップを経験

①生協学生委員会の活動で、フリーペーパー製作の面白さを知る。その後、インターンシップに挑戦！②他大学の学生や社会人との交流が新鮮！インターンシップ中には、様々なアドバイスがもらえた。③中高生向けに、大学の研究を紹介するフリーペーパーを一から作ってみたい！④スケールが大きい。色々なことに挑戦できる。



小西彩香さん
(2011年3月情報理工学部卒業)

2011年4月より株式会社エヌ・ティ・ティ・データで勤務
2009年「コーオープ演習」にてNEC SCHOTTコンポーネンツ株式会社で半年間の長期インターンシップを経験

①3回生の夏から半年間インターンシップに参加。就職活動の前に実際に会社に触れてみたかったから。②他学部の人と「コーオープ演習」の授業を通じて関わったこと。考え方や得意分野の違う人たちと一緒にになって、企業に商品提案ができた。③もっと学びたい。経済や外国語など、さまざまなことを。④いろんなことに挑戦できる環境がある。



インターンシップの区分

- 協定型インターンシップ
立命館大学が受入機関と協定を締結して協同でプログラムを構築して実施します。
- 自由応募型インターンシップ
受入先を学生が自ら開拓して参加します。
- 大学コンソーシアム京都インターンシップ
「大学コンソーシアム京都」が企画・運営します。

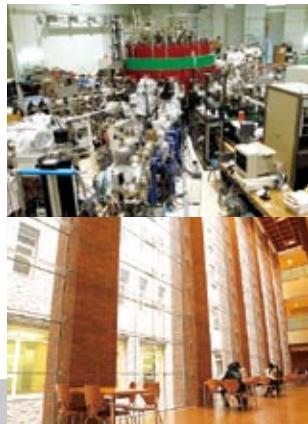
主なインターンシップ受入先

*一部抜粋 50音順(2005年度～2009年度)

旭化成、朝日新聞大阪本社、伊藤忠商事、エヌ・ティ・ティ・データ、関西電力、厚生労働省、国際協力機構(JICA)、国土交通省、サントリーフ、ソニーブループ、高島屋、武田薬品工業、テレビ朝日、東海旅客鉄道(JR東海)、東京海上日動火災保険、東京都庁、トヨタ自動車、日本総合研究所、博報堂、パナソニック、バンダイ、毎日放送、みずほ銀行、三井物産、文部科学省、読売新聞大阪本社 など多数

さらなる学びを追究する [大学院]

大学院は最先端の「知」のフィールド



「知識・技術」の学修からそれを「生みだす」ステージへ

学部における4年間の学修に加え、特定のテーマを具体的かつ専門的に深める次なるステージが大学院です。学部に比べ柔軟で、自由度の高いカリキュラムの中、研究指導教員からの丁寧な指導・助言を受けながら、自身が選択したテーマを追究します。

4年間の学修では辿りつけなかった命題・真理。それらを発見し、または生みだしていくフィールドは、専門分野ごとに特化した17研究科により構成され、さらなる学びを提供しています。

立命館大学大学院には、法曹や経営者その他高度で専門的な職業に就くための知識・能力を修得するための研究科もあり、大学院における学修・研究を経て、その目指す先は多様です。大学院に進み、自らの専門性を究めること、また研究者への道を進むことも未来の選択肢・可能性の一つです。





大学院生のための +R

自己力向上支援プログラム

立命館大学では、大学院での専門分野の知識はもちろん、それらを支える基礎力や広く豊かな学識を同時に育むことが大切だと考えています。そこで、大学院生のさらなる学びのサポートとして、英語のライティング力、論理的思考力、プレゼンテーション力など、みなさんの学修研究活動を支える能力をプラスしアップできるセミナーや大学院修了後を見据えたキャリアアップを支援するセミナーを開催しています。



大学院生のためのさらなる学び
http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-support/
プログラムに関する詳細はホームページをご覧ください。



立命館大学大学院

[衣笠キャンパス]

法学研究科 ※ 映像研究科 ※
社会学研究科 ※ 応用人間科学研究科 ※
国際関係研究科 ※ 言語教育情報研究科 ※
政策科学研究科 ※ 先端総合学術研究科 ※
文学研究科 ※

[ひわこ・くさつキャンパス]

経済学研究科 ※ テクノロジー・マネジメント研究科 ※
経営学研究科 ※ スポーツ健康科学研究科 ※
理工学研究科 ※

[朱雀キャンパス]

法務研究科(法科大学院)★
経営管理研究科(経営大学院)★
公務研究科(公共政策大学院)★

お問い合わせ先

※ … 各学部事務室
* … 独立研究科事務室
★ … プロフェッショナルスクール事務室



塩谷摩耶

さん（2011年3月社会学研究科修了）

2011年4月より日本アイ・ビー・エム株式会社で勤務

2009年3月 産業社会学部卒業

2009年4月 社会学研究科入学

Q&A

❶始めたのはいつ？きっかけは？

学部で多様な分野を幅広く学んだので、一つの領域を深めてみたいと思った。

❷やってみてよかったです

分析力、論理的思考力、コミュニケーション力などがメキメキ向上した。

❸これから挑戦したいのは？

春から社会人に。これまでの経験を仕事でも活かしていきたい！

❹立命館を一言で表現すると？

やりたいことを見つければ実現することができる大学。

学部時代は産業社会学部人間福祉学科に所属。社会学、福祉学だけでなく、教職課程を履修し、教育についても学んできました。加えて1年間の留学も経験。4年間を通して多様な分野を幅広く学んだので、今度は一つの領域について深く突き詰めてみたいという気持ちが湧き、大学院進学を決意しました。

留学中、アメリカで日本のポップカルチャーが流行している現状に触れ、興味を持ったことから、大学院では外国における日本のポップカルチャーブームについて社会学的に研究しました。大学院での学びは、学部とは異なり、すべての授業が数人の少人数制で行われます。学生が調べ、発表し、教員も交えた議論を行う機会も多いので、日々の学びは欠かせません。

大学院は狭い世界ではなく、多様な人と出会い、学ぶことができる場所です。社会人経験者も含めた幅広い年齢の人と一緒に学んだり、他の研究科の学生と交流を図ったり、さまざまな人の意見を聞くことで、多様な視点を得られます。また、自分で調べ、考え、発言していく中で、分析力や論理的思考力、ディスカッションの力もメキメキ向上します。

春からは私も社会人に。課題に向き合い、深く考えたり、さまざまな考えを持つ人と意見を交わした経験は、きっとこれから仕事でも活かせると思います。



坪井宏祐

さん (2011年3月 理工学研究科修了)

2011年4月よりダイキン工業株式会社で勤務

2009年3月 情報理工学部卒業

2009年4月 理工学研究科入学

Q&A

❶始めたのはいつ?きっかけは?

睡眠に悩む人が多い現代社会。社会のためになる研究をしたいという気持ちから。

❷やってみてよかってこと

国際学会での発表を経験し度胸がついた!睡眠について身近な人にアドバイスもできる。

❸これから挑戦したいのは?

論文を学会誌に載せること。いずれは国際舞台でも働きたい。

❹立命館を一言で表現すると?

いい意味で「不平等」。動ける人と動けない人では差が出る大学。

睡眠は誰もが抱える悩みの種。社会に貢献できる研究ならモチベーションも継続すると思い、大学院に進学し、「睡眠」の研究をさらに深めようと考えました。

大学院と聞くと、研究室に籠りっぱなしというイメージを持たれますぐ、実際は全然違います。

多くの被験者から睡眠のデータをとらないといけないため、行動ありきの毎日。

一晩がかりの実験になってしまって、失敗が許されないことが多い、常々プレッシャーを感じていましたね。

立命館の大学院には、他大学にはない「脳波計」や専用の実験室があったり、設備が充実しているので、研究には大いに助かりました。高度な学びが出来ることは、立命館の魅力の一つです。

また、国際学会でのプレゼンテーションも経験。自信と度胸が身についたので、将来的には、自分の技術を国際舞台の場でも活かしたいと思うようになりました。

でもまずは、自分の論文を学会誌に載せること。そして、現代人の快適な睡眠が実現できるように、内定先の企業で日々努力していきたいです。

新入生のみなさん。失敗は誰でも経験することです。失敗を引きずらず、「今どう動けばいいか」を考えて、何事にも積極的にチャレンジしてくださいね。



宮城 裕己

さん（立命館大学 MOT 大学院 テクノロジー・マネジメント研究科2回生）

2010年3月 情報理工学部卒業

2010年4月 立命館大学 MOT 大学院 テクノロジー・マネジメント研究科入学

Q&A

❶始めたのはいつ？きっかけは？

学部を出てそのまま就職するよりも、大学院での2年間の学びのチャンスを活かして、専門的なことを勉強しようと思った。

❷やってみてよかったです

MOTにはいろんな学部の出身者がいるので、多角的な視野で学ぶことができた。

❸これから挑戦したいのは？

自分の研究成果を国際学会で発表したい！

❹立命館を一言で表現すると？

自由を与えてくれる大学。とても充実している。

MOTの最大の魅力は、さまざまな学部の出身者がいること。いろんな人に自分の研究について話すことで、理系だけではない、新しい視点でのリプライが返ってきます。自分の視野も広がり、ITだけではなく、ファイナンスやマネジメントについても学ぶことができました。

今は、「電気自動車に関する企業間ネットワーク」の研究を重ねています。世間でのホットな話題についてより深く学びたいと思い、「電気自動車」という研究テーマを選びました。電気自動車の技術は日々、進化をしています。そのテーマを分析するためには、まず何よりも「情報」が大切。そのため、毎日、新聞記事をスクラップしたり、ノートにまとめたり、データの蓄積をする習慣が身につきました。大きな研究をするためには、地道なことから、コツコツと努力することが大切だと感じるようになりました。

立命館大学に入学し、私は勉強だけではなく、留学やオリターエンター活動など、さまざまことにチャレンジしてきました。新入生のみなさんも、積極的にやりたいことにチャレンジしてほしいと思います。立命館大学は、やりたいことが実現できる場所ですから。



竹内未保 さん

2008年4月 立命館大学法科大学院（既修コース）入学
2010年3月 立命館大学法科大学院（既修コース）修了
2010年9月 新司法試験合格



高校の法学入門の授業で、女性の弁護士からDV事件や離婚訴訟など実際に扱っておられる事案について話を聞き、「女性でしか解決できない問題があるんだ。そういう女性であればこそ活躍できる仕事に就きたい」と思ったのが、弁護士を目指したきっかけです。

立命館大学法科大学院を選んだのは、立命館宇治高校出身で立命館に対する信頼感があったのと、プログラムが充実していたことが大きな理由です。法科大学院に入って驚いたのは、活発な双方向授業。学生からもどんどん質問が飛び出しますし、



演習などでは必ず指名されて答えなければならぬので、考える力がつきました。もう一つは先生方のサポートの手厚さ。正課の授業以外にも『実践答練』といった問題演習を行って答案の書き方を指導してくださいました。また苦手だった租税法に関しては、セミナーなどに参加することで、理解できるようになりました。以前はあまり関心がなかった租税法に興味をもてるようになったのも、こうしたサポート授業のおかげです。

その他にも、現役の弁護士による「弁護士ゼミ」、「エクスターんシップ」や「裁判所訪問」など、法曹

界で活躍している人たちとの交流の機会があります。こうした機会を積極的に活用することで、法曹界の仕事への理解もより深まったと思います。もともと弁護士志望だった私ですが、裁判所訪問などで裁判を傍聴し、何人かの裁判官と質疑応答したことで裁判官の仕事にも魅力を感じるようになりました。弁護士になるにしろ裁判官になるにしろ、将来は自分が納得できる仕事をしていきたいと思っています。

将来の自分を考える

大学生活を充実させることが、結果としてキャリア形成につながる

自指す進路・就職を実現する

大学入学以前は、偏差値や受験科目のような「外」にあるモノサシ（基準）で自分の進む道を選択することが多いのに対し、大学では「自分自身のモノサシ」が大切になってきます。つまり自分のしたいことや興味のあることを基準に、物事を決めなくてはならない機会が多くなるということです。これは容易なことではありません。それは「自分のモノサシを持つことが難しい」からなんです。みなさんはこれから「キャリア形成」という言葉をよく耳にするでしょう。キャリア形成とは目の資格取得や就職先の決定ではなく「この職業に就いてこんなことをしたい」、「こんな〇〇になりたい」という就職の先にある目標を考えることです。しかし、そのような大きな目標はそう簡単に決まるものではなく、「決めなければいけない」という切迫感で行動する必要もありません。自分が今、一生懸命にやっていることや、「面白い」「楽しい」と思えること、これまで経験したことのないような未知の領域に取り組むことが大切です。キャリア形成には、まず「大学生活をいかに充実して過ごすか」が重要であり、4年間の経験と学習の積み重ねが、将来の選択肢を広げていくのです。そのため、特に低回生の間は、常に前を向いて興味関心のドアを開けておくことが大切です。

木村 ゆうき

さん（2011年3月理工学研究科修了）

2011年4月より株式会社中外医科学研究所で勤務



大学3回生の夏休み、化学メーカーでのインターンシップに参加したことが、将来を考えた最初のきっかけでした。プラントを動かすような大規模なプロジェクトに触れて、そこで私は、自分の手で目に見える成果を出すことに関心があると気づいたんです。そのためにもう少し研究の経験を積もうと、大学院へ進学しました。

大学院では、光合成に関わるクロロフィルを研究対象とし、その構造解析を行いました。実験・分析が何よりも研究の醍醐味。設定条件を考え、数え切れないほど実験を繰り返し、求める結果が出た時の達成感は、他では味わえません。

就職を本格的に考え始めたのは、修士1回生の秋から。厳しい採用状況に不安を感じたこともあり、幅広い企業にアプローチをしました。翌年5月、ある企業か



ら内定を得たものの、自分の研究や関心と直結する企業ではなく、悩んだ末、「やっぱり実験や分析に関わる仕事をしたい」という気持ちが強くなり、就職活動を続けることにしました。本当に納得できる企業への就職が決まったのは、8月末。薬剤の専門知識のない私が評価されたのは、「ここで研究したい」という心からの熱意が伝わったからだと思います。あきらめずに本当に自分がやりたい仕事・企業を探したことが、結果的に評価され、就職に結びついたのだと思います。

1~2回生

3回生

4回生

M1

M2

ボストンで1ヶ月間の短期留学を経験。

化学メーカーのインターンシップに参加し、大学院への進学を決意する。アルバイトと大学での実験・レポートで忙い日々。

卒業研究に専念する。

研究を進めながら、就職活動を開始。

内定獲得後も就職活動を継続。8月末に納得できる企業から内定を得る。修士論文作成に全力を注ぐ。

Q & A

①始めたのはいつ？きっかけは？
3回生の時にインターンシップに参加し、進路について初めて真剣に考えた。研究職を志望し、修士1回生の秋から就職活動をスタート。

②やってみてよかったです
あきらめずに就職活動を続けたことで、本当にやりたい仕事を見つけられた。

③これから挑戦したいのは？
製薬についての知識を身につけたい。

④立命館を一言で表現すると？
無限に可能性のある大学。



山口和香さん

(2011年3月産業社会学部卒業)

2011年4月よりセイコーエプソン株式会社で勤務

1回生 立命館大学放送局(RBC)に入局。

2回生 国際インスティテュート、JWP科目的履修に力を入れる。課外活動と学業の両立を大学での目標とする。

3回生 学園祭のステージ運営などを通して、多くの人と協力し、1つのを作りあげることにやりがいを感じる。

4回生 就職活動がいよいよ本格化。並行して、卒業論文制作にとりかかる。TOEIC®講座を受講。ビジネスに活かせる英語を学習。

①「グローバルに働きたい」という想いを胸に就職活動を始めたのは3回生の12月。②サークル活動やゼミでの体験など、大学生活で得たものが一つにつながった。そして、それが「これからも頑張れる」という自信になった。③グローバルに！世界のいろんなところに飛び出していきた！④自分の視野を最大限に広げてくれる場所。



武久萌美さん

(2011年3月文学部卒業)

2011年4月よりアステラス製薬株式会社で勤務

1回生 関東の大学と英語での交流会の合宿に参加。英語や多くの人の交流により興味をもつ。

2回生 知的障害をもつた子どもたちとの合宿でリーダーに。やり終えた後、子どもたちからの感謝の言葉に喜びを感じた。

3回生 E.S.S.(英語サークル)の中心メンバーに。就職活動を通じて多くの人と関わり、たくさんのことを学んだ。

4回生 初のヨーロッパ旅行。歴史の深さや文化の違いに驚き、より海外に興味をもつ。

①就職活動を始めたのは3回生の12月。サークル活動を最後までやり切ってから、気持ちを切り替えて挑みました。②自己分析ができるようになった。何かを始める前に前回の反省をして、次に活かせるようになれたのも進歩。③専門的な知識をしっかり身につけて、優秀なMRになりました！④いろいろなことに挑戦できる可能性を持つている大学。



本郷佑一さん

(2011年3月情報理工学部卒業)

2011年4月より株式会社エヌ・ティ・ティ・データで勤務

1回生 クラスリーダーを務めつつ、遊ぶことも全力で。友達をたくさん増やした。

2回生 オリター団の活動で人と関わることが好きだと気づく。

3回生 就職活動の他、2社でのインターンシップ、コーオプ演習にも参加。

4回生 卒業研究に取り組みつつ、情報系資格を習得するための勉強に勤しむ。

①さまざまな業界や仕事を見たいという気持ちから、少し早めの3回生の5月からスタート。②内定を得た先輩や多くの人から話を聞き、最初は敬遠していたSEの仕事のやりがいと面白みを発見した。③多くの人に影響を与えるような大規模プロジェクトに関わりたい。④面倒見のいい大学。

Question ①始めたのはいつ？きっかけは？ ②やってみてよかったです ③これから挑戦したいのは？ ④立命館を一言で表現すると？



伊藤大樹さん
(2011年3月経営学部卒業)

2011年4月よりエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社で勤務

1回生 ラクロスサークルを立ち上げる。

2回生 オリター団に所属。活動を通じて、がんばった人、やる気のある人が報われる仕事をしたいという思いが芽生える。

3回生 オリター団の活動を継続しながら、就職活動に勤しむ。

4回生 春に内定を獲得。BKCでジュニアアドバイザー(JA)としても活動。社会に出る前にスキルアップのための勉強も怠らない。

①厳しい採用状況を聞いて、早くからスタートを切った。3回生の6月頃からセミナーなどに参加。②「こんなことをしたい」という熱意を受け止め、挑戦させてくれる企業に出会えた。③まずは一人前になること。いつか自分の会社を立ち上げたい。④自己変革の場所。



塩田和希さん
(2011年3月理工学研究科修了)

2011年4月よりパナソニック株式会社で勤務

1~2回生 物理・数学など苦手科目の授業に追いつくために必死で勉強する。

3回生 塾講師のアルバイトで、子ども達に教える楽しさを知る。

4回生 研究室に配属され、本格的に研究活動を開始。MOT入門プログラムを修了。

M1 パナソニックでのインターンシップに参加。社風や仕事内容に惹かれる。

M2 研究の総まとめ。内定獲得後、JAとして後輩のサポートも開始。

①修士1回生の時、インターンシップで製品開発の現場を見て興味を引かれた。②自分を見つめ直し、本当に何をしたいのかを考える機会となつた。③人の暮らしを支える「温かみのある」家電製品を開発したい。いずれは経営にも関わりたい。④「やる気」を後押ししてくれる大学。

立命館大学スチューデンツ・ネットワーク

立命館大学には、学生同士が学びあい、互いに成長する独自の仕組みがあります。

■ キャリア・アドバイザー (CA)

さまざまな業界・企業・組織で活躍する3,000名を超える卒業生が業界の情勢や実際の仕事についての解説、就職活動に関するアドバイスなど現役学生をサポートしています。

■ ジュニア・アドバイザー (JA)

就職先が内定した4回生および大学院生によって構成される組織。最も身近な先輩が、後輩へ助言・援助を行います。

■ プレイスマント・リーダー (PL)

各ゼミやサークルから選出され、キャリアオフィスやJAらと連携しながら、就職合宿準備や勉強会などの自主企画を実施します。

立命館大学独自の進路就職支援

キャリアオフィスでは「学生一人ひとりの希望する進路・就職の達成」を実現するために、年間を通じてさまざまな支援プログラムを展開しています。

■ キャリア・アドバイザー企画

さまざまな業界・企業・組織の第一線で活躍するOB・OGを学内に迎え、3回生前期には、働くことへの意識づけや仕事のやりがいについて考える学内OB・OG訪問会を実施。後期には採用選考本番を見据え、OB・OGを面接官として模擬面接を実施するなど、OB・OGとのネットワークを活用した支援企画を展開しています。

■ 理系対象「企業の技術ビジョンを知る」

実際に技術者として活躍されている方を講師にお招きし、最先端技術や今後の技術革新・発展の指針、そのビジネスの可能性、技術者としてキャリアを歩むことの醍醐味など、様々な角度から企業の技術ビジョンを語っていただくセミナーを実施しています。

■ U-Iターン希望の学生への就職支援「キャリアオーラム」

近畿圏以外の出身者が約50%を占める立命館大学。Uターン就職を希望する学生への支援として採用セミナーを開催。2010年度は全国11会場で開催し、各地域の有力企業や地方自治体約490社が参加しました。

APUで学ぼう! 交流しよう!

Ritsumeikan Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学

2000年に開学した、日本で初めての本格的な国際大学である立命館アジア太平洋大学(APU)。APUの学生約6,000名のうちおよそ2,900名は世界85カ国・地域からの国際学生。教員も約半数が外国语で授業は日英の二言語で実施。世界の言語や文化を体験できるミニ地球で学べるのが特長です。立命館大学とAPU。同じ学園の中に存在するふたつの大学では学生の交流が活発に行われ、交流学生プログラムや学生交流を支援する制度が用意されています。みなさんに最も近い「世界を体験できる場所」、それがAPUなのです。



岡崎享子 さん (文学部3回生)

RU・APU学生交流プログラムに参加

韓国と関わりの深い地域で育った私にとって、韓国はとても馴染み深い身近な外国でした。何度も韓国旅行も経験し、いざれは韓国に留学したいという気持ちをもって立命館大学に進学しました。その足掛かりとして、まずは国際的な環境に身を置いてみようと思い立ち、立命館アジア太平洋大学(APU)への交換留学プログラムに応募。2回生の前期をAPUで過ごしました。

留学してまず刺激を受けたのが、APUの学生寮「APハウス」での生活でした。APハウスでは、日本全国、アジア各地をはじめ、世界中から来た学生が生活を共にします。生活習慣、食べ物、何もかもが多様な学生と、時に衝突しながら一緒に暮らすうち、国による

違いだけでなく、多くの共通点を発見しました。同じ学生、同じ人間として共感し合えると気づいたことが収穫でした。

大学では、アジアの学生たちがそれぞれの歴史を研究・共有する環境を提供する学術親睦ボランティア「LUKOH (Let Us Know Our History)」に参加。韓国からの留学生とも意見を交わしました。センシティブな話題にも踏み込み、本音で語り合ったのは初めての経験。韓国についてそれまでとは違った一面に目を向けるきっかけになりました。そして今春、念願の韓国留学が決定。APUでの経験を糧に、今度は韓国で日韓の歴史をしっかり勉強するつもりです。



①始めたのはいつ? きっかけは?

韓国留学が目標。その足掛かりとして国際的な環境に身を置いてみたくて。

②やってみてよかったです

APハウスで世界各地の学生と共に生活し、違いと共通点の両方を発見。韓国人生と歴史について考える活動にも挑戦し、意見と心を通わせた。

③これから挑戦したいのは?

念願の韓国留学が決定!

④立命館を一言で表現すると?

想像力をかきたて、行動力を磨ける場所。

APUで学ぼう

国際色豊かなAPUでの勉学は、国内にいながら異文化理解・異文化交流を体験できる貴重なプログラムです。教室やAPハウス(APUの学生寮)で世界各地から集まつた学生と過ごす時間はみなさんの視野を広げ、APUでの学習・交流をより実りあるものにするでしょう。

交流学生プログラム
(半年、1年)

半年または1年間「特別聴講学生(交流学生)」として、APUでの授業の受講および単位を取得できるプログラムです。毎年10月ごろに募集を開始します。
[2010年度参加者数] 6名

サマーセッションプログラム

APUの夏期集中講義を受講および単位を取得することができるプログラムです。各講義の期間は約1週間。毎年4月ごろに募集を開始します。

[2010年度参加者数] 26名

APUの学生と交流しよう

毎年、多くの立命館大学生がAPUを訪れ、交流しています。両大学の学生による平和学習プログラムや国際問題をシミュレーションすることで理解を深めるプログラムの実施、また天空祭(APUの学園祭)にも多数の学生団体が参加しています。また、両大学の交流を支援する奨励金制度も多彩です。

学生交流プログラム
課外活動交流奨励金制度

■団体交流奨励

立命館大学もしくはAPUに登録している団体による両大学の学生交流を促進する取り組みを奨励。

■学生交流プログラム補助

両大学間の交流促進のために実施する「課外プログラム」や「学生交流企画」に参加する学生および団体への補助。両大学における全学的な取り組み(学園祭などの全学行事)への団体の相互派遣も含まれます。

広い世界で
新しい自分づくりを
始めよう！



Kiyofumi Kawaguchi

1945(昭和20)年8月31日生まれ。
立命館大学政策科学部教授、博士(経済学、京都大学)。
専門分野は経済学(経済・社会システム、経済事情および政策学)。
趣味はアメリカンフットボール観戦。
2007年1月より現職。

立命館大学へようこそ。世界は今、次の時代を切り拓く創造性や洞察力、行動力を備えた人材を求めていきます。立命館大学はそれらの力を身につけ、社会に出て実践する土台を築く修練の場です。

みなさんにはぜひ、広い世界に身を置いて、新しい自分づくりを始めて欲しい。今までみなさんには高校、家族、友人、地域など限られたコミュニティの中で学んでいたと思います。しかし、大学での学びを通じ、みなさんの世界は格段に広がるはずです。立命館大学にはまだ知らない「知の感動」が渦巻いています。勇気を持って一歩踏み出し、その一つひとつに直接触れてください。

立命館大学には充実した正課の教育プログラムに加えて、社会と連携したプログラム、課外活動、専門性を高める大学

院など多様な学びの場があります。大学生になったみなさんには、まず学部での学びに全力で打ち込むことを期待しています。目の前の常識を疑い、自分の興味・関心をとことん追求してください。そしてそこで得た知識を社会で実践し、知恵に変える努力をしてください。社会体験と大学での学習の往復が学びをいっそう生き生きとしたものにするはずです。

大学4年間で形成すべき人格や能力は多様にありますが、自分のスケールや器量を大きくすることもそのひとつであり、それには挑戦が不可欠です。挑戦に失敗や挫折はつきものですが、それは学生の特権。最大限努力した上で失敗は、必ずやその人の人格に深みを与えてくれるでしょう。

新入生のみなさん、立命館大学でぜひ大きなチャレンジをしてください。私たちはそれを全力で支援していきます。

学校法人立命館総長
立命館大学長

川口清史

立命館憲章

～立命館で学ぶということ～

2006年7月、立命館学園はこれまでの学園の歩みを踏まえて、立命館大学、立命館アジア太平洋大学、附属校の理念、使命を示した立命館憲章を策定しました。

立命館憲章は立命館学園で学ぶ学生・生徒・児童49,000名、2,200名の教職員、30万人に及ぶ校友など学園を構成する一人ひとりが同じ「立命館」の一員として理念・使命を共有するための「核」となるべきものです。

立命館大学で学ぶみなさんにとっても非常に身近な存在であり、自らの使命を確認するよりどころとなるものです。自分の将来を考えるとき、自分自身を振り返るとき、社会あるいは海外であなたのアイデンティティを問われたとき、さまざまな場面でこの憲章を読み返し、原点に立ち返ることで、そこで学ぶ（学んだ）自らはどう進むべきかという答えを見出してください。



学祖 西園寺公望



創立者 中川小十郎



「未来を信じ、未来に生きる」の石碑

立命館憲章

THE RITSUMEIKAN CHARTER

立命館は、西園寺公望を学祖とし、1900年、中川小十郎によって京都法政学校として創始された。「立命」の名は、「立命」の「立心命命」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く者を育む場」を意味する。

立命館は、西園寺公望の開拓精神を継承し、第二次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、教育理念を「平和と社会貢献」とした。

立命館は、時代と共に変化しながら、自由を重き、進歩の精神を乗り越ながら、広く世界に「信と愛を育む」立命館精神への道を進んできました。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際的立場をもたらす文化活性化的実現をめざす。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて伝統と進歩を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを実現する。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特徴を活かし、自由、民主、公正、公明、昇進の精神を重き、教職員と学生の教師、校友と父母の協力のもとに、社会進歩をめざし、学園の発展に努める。

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき科学的な体験的創造と人類的清潔感の精神に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教学理念に基づき、「未来を行ひ、未だに生きる」の精神をもって、確かで学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地域社会として躍進できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・開拓的発展に貢献する。

2006年7月21日 学校法人立命館



立命館は、西園寺公望を学祖とし、1900年、中川小十郎によって京都法政学校として創設された。「立命」の名は、『孟子』の「尽心章句」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」を意味する。

立命館は、建学の精神を「自由と清新」とし、第2次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、教学理念を「平和と民主主義」とした。

立命館は、時代と社会に真摯に向き合い、自主性を貫き、幾多の困難を乗り越えながら、広く内外の協力と支援を得て私立総合学園への道を歩んできた。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて信頼と連帯を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを進める。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特性を活かし、自主、民主、公正、公開、非暴力の原則を貫き、教職員と学生の参加、校友と父母の協力のもとに、社会連携を強め、学園の発展に努める。

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類的諸課題の解明に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

2006年7月21日　学校法人立命館

みんなの心が一つになる瞬間。 スタジアムへ行こう！

野球、アメフト、ラグビー、駅伝…。
スポーツがみんなの心を
ひとつにする瞬間が大学にはある。
なんとなく友達と来たスタジアム。
そりゃ、やっぱり自分の大学に勝ってほしい。
いつしか応援に力が入る。
こんなに大学のこと好きだったっけ…？
スタジアムでしか味わえない感動がそこに。



他では味わえない“一体感”が学生スポーツならではの醍醐味。例えば、立同戦（立命館大学と同志社大学の硬式野球部の伝統の一戦をそう呼ぶ）では、学生が一体となって立命館のシンボルカラーであるエンジ色のメガホンやチアステッキを持って応援。

応援の楽しさと試合の臨場感、そして自分が立命館大学の一員であるという一体感を味わえるのは試合会場で応援してこそ！どの試合にも「生」でしか味わえない迫力と感動があります！まず一度、応援に行ってみてください !!





一緒に応援しよう

応援に行くとき、事前に応援方法を知っておけば、楽しさも倍増！立命館ならではのユニークな応援方法や応援を盛り上げる際に欠かせないグッズがあるので、要チェック！

応援歌「グレーター立命」

試合の際に、隣の人と一緒に肩を組んで歌うことも。会場全体で盛り上がりますよ。

- 一、 空はさながら青春の
胸の雄団の象（すがた）なり
溢るる力示すべく
えんじの旗をなびかせて
堂々勝を争わん
グレーター立命
グレーター立命

- 一、 心と身（からだ）を鍛え上げ
清き健児の火を吐きぬ
秋（とき）に放たん大ゲーム
「R」の手旗をうちふるい
雄たけびびおくる応援団
グレーター立命
グレーター立命



バナナ

アメリカや野球の試合の時に踊ります。チアリーダーが前に出て踊るのでそれを真似すれば大丈夫。楽しく元気よく踊ってください！



応援グッズ

Rマークの入ったチアスティックやバナーフラッグなどもあるので、応援団吹奏楽部や応援団チアリーダー部と一緒に試合を盛り上げよう！



他にも「パンビーナ」「牛若」「立命レオ」など立命館ならではの応援があります。試合会場では事前にルールや応援方法を書いた紙を配り、詳しく知らない人でも楽しめるようにしているので、初めての方も安心して行ってみてください！

詳しくは学生イベント＆スポーツへ → <http://www.ritsumei.ac.jp/event-sports/>



学生数

36,576

名 (2010年5月現在)



学部生 33,120 名、大学院生 3,456 名。
うち、留学生は 1,113 名。多様な個性が
キャンパスを彩っています。

一年間に海外で学ぶ
学生数(海外派遣者数)

1,459

名

(2011年3月現在)

毎年多くの学生がチャレンジする留学プログラム。
多彩なプログラムから、個々の目的に応じた選択が可能です。

エクステンションセンター
講座受講者数

約 6,000

名 (2011年3月現在)

学生のさまざまなニーズにこたえる
講座を開講しています。

海外協定大学・機関数

60 力国・地域
395 大学・機関

(2011年1月末現在)



立命館のグローバルネットワーク。
留学や海外研究者との共同研究の
チャンスが広がっています。

難関試験の合格者数

89

名 (2010年度)



最難関といわれる国家公務員1種試験13名、
新司法試験47名(共に2010年度)、
公認会計士試験29名(2011年3月現在)が合格。

インターンシップ
参加者数

1,000

名以上

(2010年度)



本学とインターンシップ協定を結ぶ企業は
約250社(2011年3月現在)。
さまざまな業界で就労体験することができます。

海外からの正規留学生数

001

38 力国・地域
1,113 名

(2010年5月現在)



この他に 28 力国・地域から
111 名の交換留学生を受け入れています
(2010年5月現在)。

世界の学生が学ぶキャンパスは
国際性にあふれています。

CLAで語学講座を受講している学生数

2,139名

002

(2010年度)



英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語とさまざまな語学を学べます。

教職課程履修者数

(学部生のみ)

3,545名

004

(2010年5月調べ)



大学院進学者数
(外部進学者を含む)

1,533名

ADVANCED
STUDIES

(2010年度)

奨励金制度をはじめとする大学院生へのさまざまな支援制度が確立されています。



オリター(エンター)の数

772名

007

(2010年度)



1回生が充実した大学生活を送れるように多くの先輩学生が日々活動しています。

課外自主活動団体数

約600団体

008

(2010年12月現在)



学友会・自治会、中央事業団体、体育会、

学術部、学芸総部、中央任意団体、登録団体等を含む。2011年3月現在でのべ24,667名の学生が参加しています。

教員採用実績

のべ252名

004

(2011年3月上旬現在)

*正規採用のみ(既卒者含む本学把握数)。その他、講師(常勤・非常勤)でも多数採用されています。

充実したサポートで全国トップクラスの教員採用試験合格者数を誇ります。

校友(卒業生)数

約30万名

(2010年5月現在)

強力なOB・OGネットワークが社会に出てもみなさんをサポートしてくれます。





		〈窓口〉	〈電話番号〉	〈場所〉
P10	001 留学をする	<p>① 衣笠国際教育センター</p> <p>② 教務課</p>	<p> 075-465-8229</p> <p> 075-466-3350</p>	<p> 明学館 1階</p> <p> 至徳館 4階</p>
P14	002 語学力を伸ばす	<p>① 言語習得センター (CLA)</p> <p>② 立命館孔子学院</p>	<p> 075-465-7878</p> <p> 075-465-8426</p>	<p> ランゲージセンター 1階</p> <p> アカデマイア立命21内 (国際平和ミュージアム 2階)</p>
P18	003 資格を取る	<p>① エクステンションセンター</p> <p>② エクステンションセンター (朱雀キャンパス)</p>	<p> 075-465-8297</p> <p> 075-813-8285</p>	<p> 研心館 1階</p> <p> 朱雀キャンパス 1階</p>
P22	004 教師を目指す	教職支援センター	075-465-7855	至徳館 1階
P24	005 ボランティアをする	<p>① サービスラーニングセンター (ボランティアセンター)</p> <p>② 障害学生支援室</p>	<p> 075-465-1952</p> <p> 075-465-1952</p>	<p> 学而館 1階</p> <p> 学而館 1階</p>
P26	006 ベンチャービジネスに挑戦する	次の BKC のページをご覧ください		
P28	007 学生同士で学びあう	<p>① 学生オフィス</p> <p>② 教育開発支援課</p> <p>③ キャリアオフィス</p>	<p> 075-465-8168</p> <p> 075-465-8304</p> <p> 075-465-8172</p>	<p> 研心館 2階</p> <p> 至徳館 4階</p> <p> 研心館 1階</p>
P30	008 課外自主活動で自分を磨く	<p>① 学生オフィス</p> <p>② スポーツ強化オフィス</p>	<p> 075-465-8168</p> <p> 075-465-7863</p>	<p> 研心館 2階</p> <p> 研心館 2階</p>
P34	009 インターンシップをする	インターンシップオフィス	075-465-7856	研心館 1階 (キャリアオフィス内)
P44	Career 将来の自分を考える	キャリアオフィス	075-465-8172	研心館 1階
P48	APU APU で学ぼう！ 交流しよう！	<p>① 教務課</p> <p>② 学生オフィス</p>	<p> 075-466-3350</p> <p> 075-465-8168</p>	<p> 至徳館 4階</p> <p> 研心館 2階</p>

朱雀キャンパス

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1



001 1

003

2

敬学館

尽心館

明學館

恒心館

洋洋館

APU

二条通

御池通

地下鉄東西線
二条駅

JR山陰本線
二条駅

Bivi
二条

千本通

三条通

大宮通

立命館
朱雀
キャンパス

諒友館

研心館

存心館

尚学館

有心館

興学館

創思館

充光館

至徳館

志学館

学而館

図書館

ランゲージセンター

育友館

修学館

清心館

啟明館

西門

清心門

南門

東門

北

衣笠キャンパス

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

002 1

005 1 2

003 1

009

008 1 2

007 1 3

003 2

APU 2



001 2
004
007 2
APU 1

宝本印象美術館
正門

末川記念会館
第1体育館
学生会館

アート・リサーチセンター
歴史都市防災研究センター

通用門

アカデマイア
立命21

002 2





		〈窓口〉	〈電話番号〉	〈場所〉
P10	001 留学をする	<p>① BKC 国際教育センター</p> <p>② 教務課</p>	<p> 077-561-3038</p> <p> 075-466-3350</p>	<p> アクロスウイング 1階</p> <p> (衣笠) 至徳館 4階 *地図は66ページをご覧ください</p>
P14	002 語学力を伸ばす	<p>① 言語習得センター (CLA)</p> <p>② 立命館孔子学院</p>	<p> 077-561-3358</p> <p> 075-465-8426</p>	<p> アドセミナリオ 1階</p> <p> (衣笠) アカデメイア立命21内 (国際平和ミュージアム 2階)</p> <p>*地図は66ページをご覧ください</p>
P18	003 資格を取る	<p>① エクステンションセンター</p> <p>② エクステンションセンター (公認会計士オフィス)</p>	<p> 077-561-2853</p> <p> 077-561-4976</p>	<p> ブリズムハウス 2階</p> <p> コラーニングハウスⅢ 1階</p>
P22	004 教師を目指す	教職支援センター	077-561-5207	ユニオンスクエア 1階
P24	005 ボランティアをする	<p>① サービスラーニングセンター (ボランティアセンター)</p> <p>② 障害学生支援室</p>	<p> 077-561-5910</p> <p> 075-465-1952</p>	<p> セントラルアーツ 2階</p> <p> (衣笠) 学年館 1階 *地図は66ページをご覧ください</p>
P26	006 ベンチャービジネスに挑戦する	<p>① 学びステーション</p> <p>② 理工リサーチオフィス</p> <p>③ 経営学部事務室</p>	<p> 077-561-4972</p> <p> 077-561-2802</p> <p> 077-561-3941</p>	<p> ブリズムハウス 1階</p> <p> テクノコンプレクス 1階</p> <p> アドセミナリオ 1階</p>
P28	007 学生同士で学びあう	<p>① 学生オフィス</p> <p>② 教育開発支援課</p> <p>③ キャリアオフィス</p>	<p> 077-561-3952</p> <p> 077-561-2809</p> <p> 077-561-3942 (文系) 077-561-2626 (理系)</p>	<p> セントラルアーツ 1階</p> <p> アドセミナリオ 1階</p> <p> ブリズムハウス 2階</p>
P30	008 課外自主活動で自分を磨く	<p>① 学生オフィス</p> <p>② スポーツ強化オフィス</p>	<p> 077-561-3952</p> <p> 077-561-3977</p>	<p> セントラルアーツ 1階</p> <p> セントラルアーツ 1階, アスリートジム 1階</p>
P34	009 インターンシップをする	インターンシップオフィス	077-561-3398	ブリズムハウス 1階 (学びステーション内)
P44	Career 将来の自分を考える	キャリアオフィス	077-561-3942 (文系) 077-561-2626 (理系)	ブリズムハウス 2階
P48	APU APUで学ぼう！交流しよう！	<p>① 教務課</p> <p>② 学生オフィス</p>	<p> 075-466-3350</p> <p> 077-561-3952</p>	<p> (衣笠) 至徳館 4階 *地図は66ページをご覧ください</p> <p> セントラルアーツ 1階</p>



学びステーション

BKCで学ぶみなさんの「学び」に関するさまざまな相談や、レポート提出などの利便性をより向上させるための総合的な窓口です。わからないことや相談がある場合は、学びステーションにいこう！

びわこ・くさつキャンパス

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1



在学生のみさんのキャンパスライフを応援する情報サイト「RS WEB」。

徹底取材、インタビューで集めた、みなさんの挑戦を後押しする情報が満載です。コンテンツは毎日更新。今すぐアクセス！

<http://www.ritsumei.ac.jp/rs/>



Ritsumeikan Style [web]



船岡 知さん
(2011年3月政策科学部卒業)

2011年4月より株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモで勤務
2008年7月～2011年3月まで広報スタッフとして活動

今回の+R BOOKの取材では、立命館で学ぶたくさんの学生のみなさんからお話を伺うことができました。そこで実感したのは、「みんな輝いている」ということ。「立命館大学」という場所で、1人1人がそれぞれの信じた道をまっすぐ突き進んでいる。たとえそれが成功しても失敗しても、何か得るものがある。その経験を糧にして、また新たなことに挑戦していく。みなさんキラキラした笑顔で語ってくださいました。

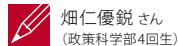
入学当初はあまり積極的ではなかった私も、広報スタッフの活動を通してたくさんの方々にお会いし、お話を伺ううちに「どんなことでも最後まで諦めずに取り組むことで自分の身となり、成長につながるんだ」ということを学ぶことができました。

社会人になんでもその気持ちを忘れず、出会いを大切にしながら、自分の信じた道を突き進んでいきたいと思います。



RS WEB やこの+R BOOKの制作に参画している学生広報スタッフ。学生の視点から企画を立案し、取材、インタビュー、記事の執筆までを担当。さまざまなニュースを"分かりやすく" "楽しく"お届けします！ お楽しみに♪

- 大学の“今”が分かる
- チャレンジのきっかけに
- 身近な学生の頑張りが分かる
- 情報収集のツールとして



畠仁優銳さん
(政策科学部4回生)

2008年12月から広報スタッフとして活動中



1回生の秋、大学生活に物足りなさを感じていた時に偶然見つけた『学生広報スタッフ募集』の文字が、僕の大学生活を大きく変えました。もともとマスコミ志望だったことに加え、大学のイベントなどを最前線から発信できる。その魅力に大きく惹かれ、迷わず応募。スタッフとして活動を始めてからは、学生団体を立ち上げ自分の夢に突き進む人や外部団体とタイアップして大きなイベントを成功させた人など、さまざまな分野で活躍されている学生のみなさんにインタビューをしてきました。そして、出会った1人1人の方から大きな影響を受けてきました。また野球少年だった自分にとって、取材という形ではありますが、夢だった甲子園球場や東京ドームのグラウンドに立てたことは本当にいい思い出になっています。大学生活も残り1年となりましたが、自分自身に新たな刺激を与えてくれる出会いを大切にしたいです。

立命館大学には無限の+Rがある。

チャンスを活かして、
あなただけの学生生活を送ってほしい。

なりたい自分をイメージして、
アンテナをはって、
さまざまのことにもチャレンジしよう。

これからの大学生活で、たくさんの+Rに出会ってください。



A large, bold, red letter 'R' is centered on the page. The letter is stylized with a thick vertical stroke on the left and a diagonal stroke on the right, creating a dynamic, forward-leaning appearance.

RITSUMEIKAN

+R 未来を生みだす人になる。

